

## 第4章 地域編

### 1. 佐久地域

#### 1-1 地域特性など

- 佐久地域は県の最東部にあり、北東側を群馬県、南側を山梨県と接し、首都圏からの県の玄関口と位置づけられています。埼玉県とも県境を接していますが、山岳部のため人の流動はありません。
- 北西側に接する上田地域との人の移動が多く、上田地域の北に位置する長野地域、南西側に接する諏訪地域との流動も、ある程度みられます。
- 小諸市中心部、佐久平駅周辺・岩村田、野沢・中込地区、臼田地区などに、商業施設、病院、高等学校が集中しています。
- 千曲川の上流に位置し、浅間山、八ヶ岳などの豊かな自然に恵まれた、わが国有数の高原リゾートエリアであり、多くの観光客が訪れています。

#### 1-2 地域公共交通の概況

- 首都圏と北陸圏を結ぶ北陸新幹線が地域を横断しています。佐久地域には軽井沢駅と佐久平駅があり、軽井沢駅から東京駅まで最短 60 分強で、首都圏とのアクセスが良好です。
- 新幹線の並行在来線として第三セクターのしなの鉄道が運行しており、軽井沢駅と篠ノ井駅を結んでいます。篠ノ井駅で J R 信越本線、J R 篠ノ井線に接続し、長野駅まで直通運行されています。
- 小諸駅と小淵沢駅を結ぶ J R 小海線が運行されており、小諸駅でしなの鉄道に、小淵沢駅で J R 中央本線にそれぞれ接続されています。
- 路線バスは、千曲バスの中仙道線（佐久方面）が地域で唯一の地域間幹線系統として運行されています。
- この他に、市町村をまたぐ路線は、事業者運営の路線バスが 4 路線、市町村運営のコミュニティバス路線が 3 路線運行されています。

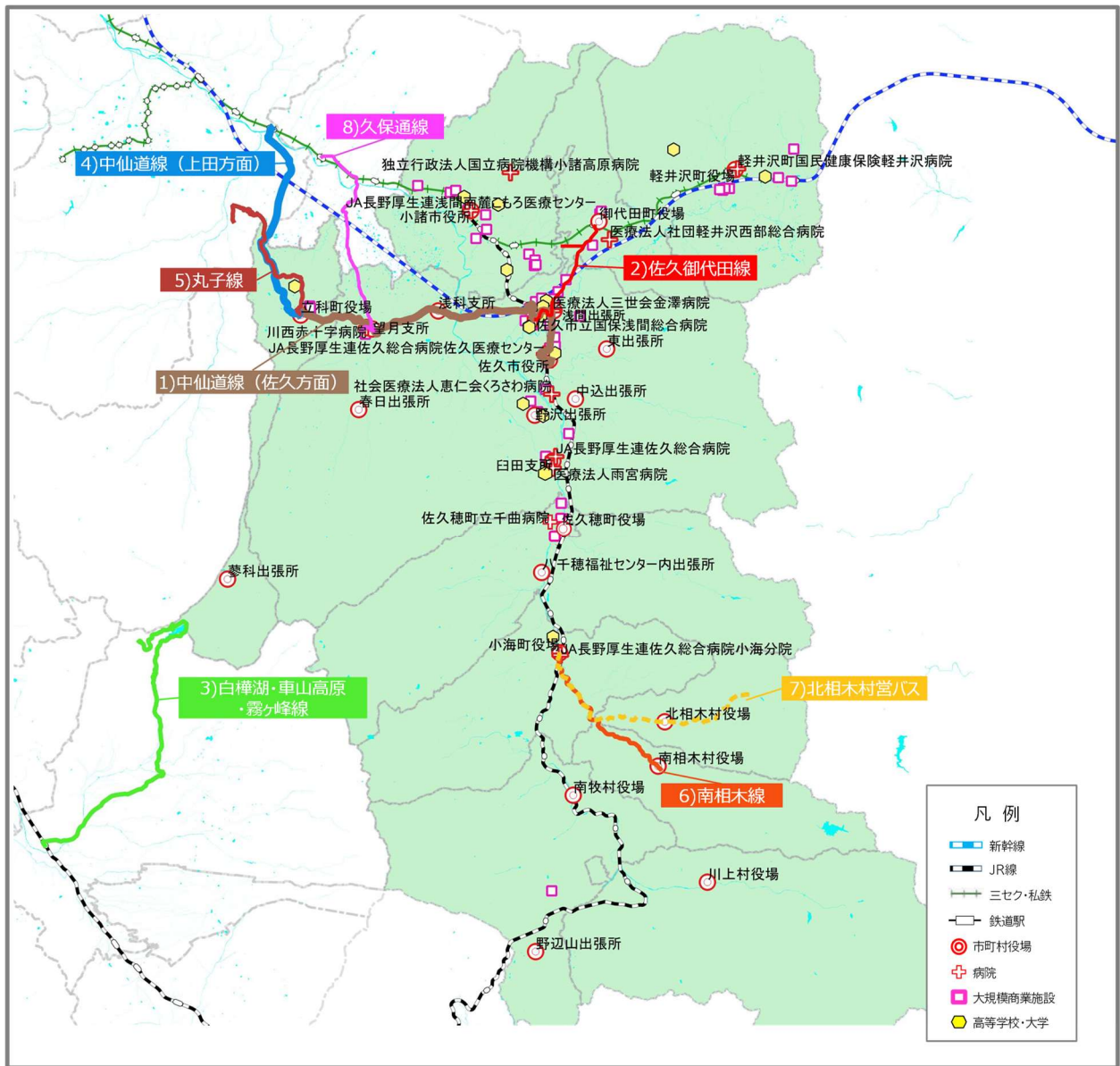
#### 1-3 地域公共交通の課題

- しなの鉄道は、1 時間に 1、2 本程度の運行本数が確保されているものの、J R 小海線は、日中の運行便数が少なく、特に小海駅以南については、2 時間に 1 本となる時間帯もあります。また、小海線は輸送密度 2,000 人未満の路線として公表されており、小海線沿線地域活性化協議会で利用促進に取り組んでいます。
- 地域間幹線系統のバス路線は、佐久上田線が令和 3 年に廃止になっています。中仙道線は、かつては上田地域まで 1 本の路線でしたが、利用者の減少を受けて路線が分割され、立科町以東の区間だけが地域間幹線系統として継続しており、これにより、路線の利便性が低下しています。
- 観光地への交通の便については、八ヶ岳山麓には公共交通でアクセスしにくい観光地が数多くあります。白樺高原は、茅野駅からは直通のバス路線（白樺湖・車山高原線）があるものの、佐久方面からは立科町でコミュニティバスへ乗り換える必要があります。

# 市町村界をまたぐ主なバス路線の状況

令和5年10月1日現在  
 (データの年次は令和4年度のもの。ただし地域間幹線系統の国庫補助額は令和6年度申請のもの)

No.	路線種別	運行事業者 (委託先)	路線名	路線距離	運行便数 (往復数)	利用者数 (輸送人員)	収支率	国庫申請額 (千円)
1	事業者路線 (地域間幹線系統)	千曲バス	中仙道線 (佐久方面)	21.5	4.5	25,173	8.5%	9,071
2	事業者路線 (その他一般路線)	千曲バス	佐久御代田線	7.8	1.0	5,393	13.2%	
3		アルピコ交通	白樺湖・車山高原線 (定期観光便)	26.4	2.7	22,150	51.2%	
4		アルピコ交通	白樺湖・車山高原線 (通勤通学便)	26.2	1.3			
5	東信観光バス	中仙道線 (上田方面)	13.4	8.8				
6	コミュニティ路線 (廃止代替含む)	南相木村(直営)	南相木村営バス	10.8	10.0	33,195	0.5%	
7		北相木村(直営)	北相木村営バス	16.6	10.8	11,050	0.6%	
8		しげのまつバ タクシー	久保通線	14.8	4.0			



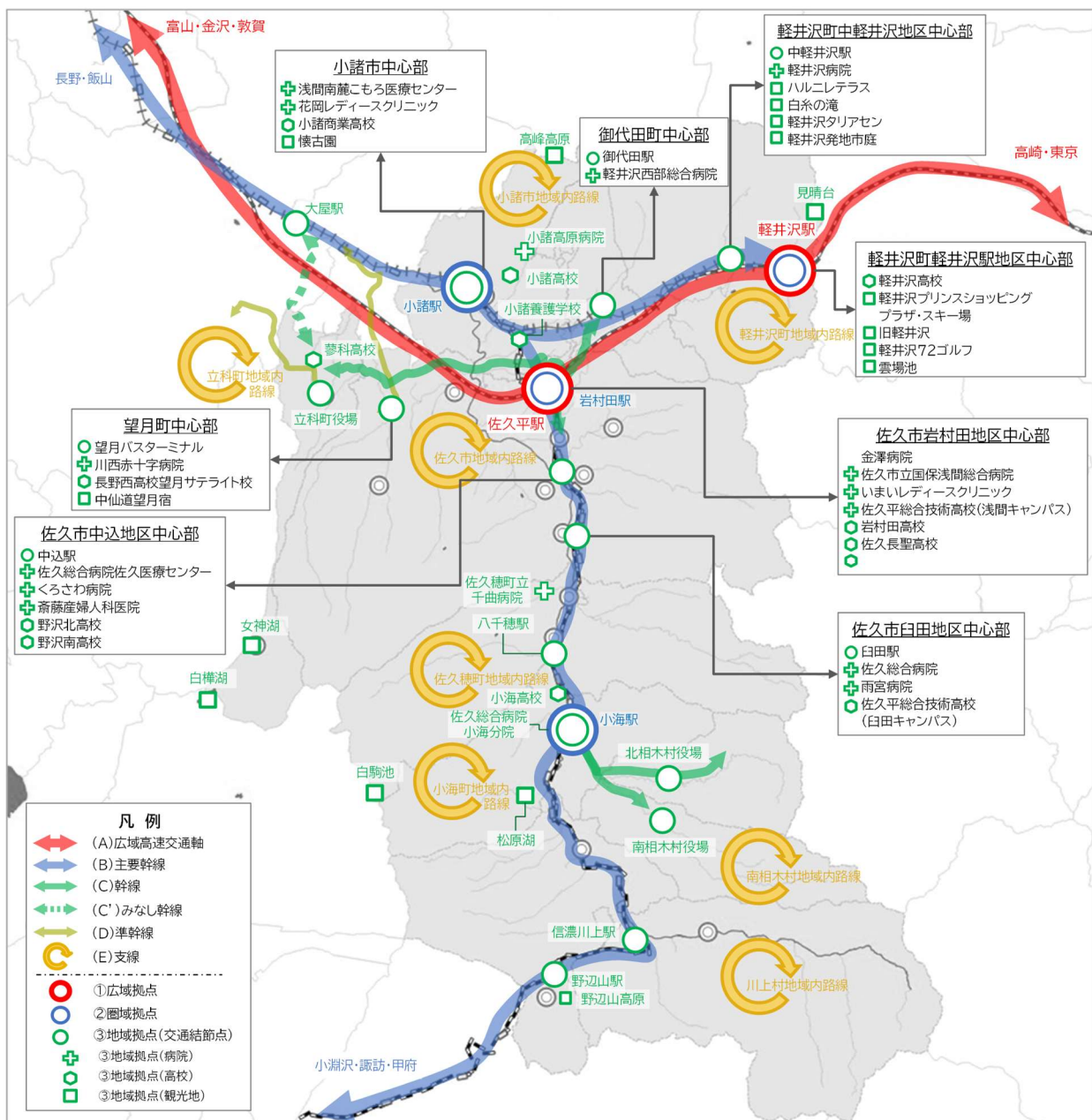
1-4 拠点と軸の設定

区分	名称	凡例	位置づけ	具体的な拠点
拠点	①広域拠点		○三大都市圏などと直接アクセス可能な交通結節点	佐久市 ・佐久平駅 軽井沢町 ・軽井沢駅
	②圏域拠点		○圏域の中心市町の交通結節点	小諸市 ・小諸駅 佐久市 ・佐久平駅・岩村田駅 小海町 ・小海駅 軽井沢町 ・軽井沢駅
	③地域拠点		○各市町村中心部の交通結節点 ○中核的な医療機関、高校、主要な観光地、買い物先施設	小諸市 小諸高原病院 浅間南麓こもろ医療センター 花岡レディースクリニック 小諸商業高校 (※1) 小諸高校 (※1) 小諸養護学校 (※2) 懐古園 高峰高原  佐久市 ・中込駅 ・臼田駅 ・望月バスターミナル ..... 佐久総合病院 佐久総合病院 佐久医療センター 川西赤十字病院 金澤病院 くろさわ病院 雨宮病院 佐久市立国保浅間総合病院 いまいレディースクリニック 斎藤産婦人科医院 佐久平総合技術高校 (浅間キャンパス) 佐久平総合技術高校 (臼田キャンパス) 岩村田高校 野沢北高校 野沢南高校 長野西高校望月サテライト校 佐久長聖高校 中仙道望月宿  小海町 佐久総合病院小海分院 小海高校 松原湖  川上村 ・信濃川上駅  南牧村 ・野辺山駅 野辺山高原  南相木村 ・南相木村役場  北相木村 ・北相木村役場  佐久穂町 ・八千穂駅 ..... 佐久穂町立千曲病院 白駒池

(※1)令和8年度から小諸商業高校と小諸高校は統合し、「小諸義塾高校」に変更  
(※2)令和8年度から「小諸支援学校」に名称変更

区分	名称	凡例	位置づけ	具体的な拠点
拠点	③地域拠点	○	<p>○各市町村中心部の交通結節点 ○中核的な医療機関、高校、主要な観光地、買い物先施設</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p> <span style="color: green;">+</span> ③地域拠点(病院)  <span style="color: green;">○</span> ③地域拠点(高校)  <span style="color: green;">□</span> ③地域拠点(観光地) </p> </div>	<p>軽井沢町</p> <p>・中軽井沢駅</p> <hr style="border-top: 1px dotted black;"/> <p> <span style="color: green;">+</span> 軽井沢病院  <span style="color: green;">○</span> 軽井沢高校  <span style="color: green;">□</span> 軽井沢プリンスショッピングプラザ・スキー場  <span style="color: green;">□</span> 旧軽井沢  <span style="color: green;">□</span> 白糸の滝  <span style="color: green;">□</span> 軽井沢タリアセン  <span style="color: green;">□</span> 軽井沢72ゴルフ  <span style="color: green;">□</span> 軽井沢発地市庭  <span style="color: green;">□</span> 雲場池  <span style="color: green;">□</span> 見晴台  <span style="color: green;">□</span> ハルニレテラス </p>
				<p>御代田町</p> <p>・御代田駅</p> <hr style="border-top: 1px dotted black;"/> <p> <span style="color: green;">+</span> 軽井沢西部総合病院 </p>
				<p>立科町</p> <p>・立科町役場</p> <hr style="border-top: 1px dotted black;"/> <p> <span style="color: green;">○</span> 蓼科高校  <span style="color: green;">□</span> 白樺湖  <span style="color: green;">□</span> 女神湖 </p>
				<p>上田市 (圏域外 拠点)</p> <p>・大屋駅 (立科町から上田市方面の高校への通学拠点)</p>

区分	名称	凡例	位置づけ		具体的な路線
軸・路線	【A】広域高速交通軸		三大都市圏と県内の広域拠点を接続	鉄道	・北陸新幹線[JR東日本]
	【B】主要幹線		隣接県と県内や県内の広域拠点を接続	鉄道	・しなの鉄道線[しなの鉄道] ・小海線[JR東日本]
	【C】幹線		圏域拠点と地域拠点を接続	バス	・中仙道線(佐久方面)[千曲バス] ・佐久御代田線[千曲バス] ・南相木村営バス[村直営] ・北相木村営バス[村直営]
	【C'】みなし幹線		主要幹線もしくは幹線への乗継により圏域拠点へ接続	バス	・中仙道線(上田方面)[東信観光バス]
	【D】準幹線		地域拠点と地域拠点を接続	バス	・丸子線[東信観光バス] ・久保通線[しげのまつタクシー]
	【E】支線		地域拠点と目的施設を接続	バス デマンド 交通等	・各市町村のコミュニティ交通



## 1-5 保証すべき品質

1-4 で掲げた各連携軸は、次の水準での整備を目指します。

種別	品質保証の基本的な考え方			設定する水準	
	通院	通学	観光	運行日	運行時間帯
【B】主要幹線	一次交通の位置づけであり、圏域内の地域医療を担う総合病院等に午前中に到着し、午後の早い時間帯に帰宅できる便がある。	一次交通の位置づけであり、圏域内の高校等への登下校に対応した便がある。下校時は、終業後と課外活動後の帰宅にあわせた便がある。	※令和8年度以降に設定予定	平日・土休日とも (同水準で運行)	概ね 6～22時
【C】幹線 【C'】みなし幹線	当該軸の沿線の地域拠点を出発して、直接又は乗継ぎにより市町内の地域医療を担う総合病院等に午前中に到着し、遅くとも夕方までに帰宅することができる。	当該軸の沿線の地域拠点を出発して、直接又は乗継ぎにより高校等(通信制含む)の登下校に対応した便がある。下校時は、終業後と課外活動後の帰宅にあわせた便がある。		平日	概ね 7～20時
【D】準幹線	町村内に地域医療を担う総合病院等がない場合は、近隣自治体の総合病院等に通院することができる。	各市町村から市部及び郡内の高校への通学を基本とする。		平日	概ね 7～18時
【E】支線の運行内容は各市町村において設定するものとしているが、目安を以下に掲げる。					
【E】支線	圏域内の各居住区を出発して、直接又は乗継ぎにより、市町内の地域医療を担う総合的な病院等に午前中に到着し、遅くとも夕方までに帰宅することができる。町村内に地域医療を担う総合病院等がない場合は、近隣自治体の総合病院等に通院することができる。	圏域内の各居住区を出発して、直接又は乗継ぎにより、高校等(通信制含む)の登下校に対応した便がある。下校時は、終業後と課外活動後の帰宅にあわせた便がある。各市町村から市部及び郡内の高校への通学を基本とする		平日・土休日とも (土休日については減便・運休を許容)	路線バス、デマンド交通等の利用実態に合わせた運行

## 1-6 品質を保証するための具体的な取組

施策	1 幹線の運行				
施策内容	現在の市町村界で市町村をまたいで運行しており、通院・通学の品質保証に必要な以下の5路線をC幹線又はC'みなし幹線と位置付け、路線の見直しを行い、路線の維持・確保を図る。 <b>【C幹線】</b> ・中仙道線(佐久方面) ・佐久御代田線 ・南相木村営バス ・北相木村営バス <b>【C'みなし幹線】</b> ・中仙道線(上田方面)				
役割分担	○運行計画立案:市町村、交通事業者 ○運営主体:市町村、交通事業者 ○運行実施:市町村、交通事業者				
スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	・検討組織設立	・運行内容 確認見直し	・路線の見直し	・新制度の申請	⇒⇒⇒

施策	2 拠点の整備				
施策内容	主要な交通結節点については、待合施設において快適な滞在ができるような設備の整備を検討していく。(デジタルサイネージやWi-Fi設備等) 難しい場合は、上屋、ベンチなどの最低限の待合設備を設けるものとする。				
役割分担	○事業主体:市町村、交通事業者 ○整備運営:市町村、交通事業者				
スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	・検討組織設立	・見直し・検討	・見直し・検討	・見直し・検討	・設備維持管理

施策	3 キャッシュレス決済の推進				
施策内容	地域連携ICカードを利用して円滑に目的地まで移動できるよう、交通事業者や市町村毎に導入可能か検討していく。				
役割分担	○事業主体:市町村、交通事業者 ○整備運営:市町村、交通事業者				
スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	・検討組織設立	・導入検討	・導入検討	・導入検討	・必要に応じて整備

施策	4 標準的なバス情報フォーマット(GTFS-JP)の整備				
施策内容	圏域内のバス路線の情報を経路検索サービス等で検索できる環境が整備され、利用者がサービスを利用しやすいよう常に最新の情報が掲載されていることを目標とする。 未整備路線については整備をし、整備済の路線については、適宜更新し最新の情報を提供していく。				
役割分担	○事業主体:市町村、交通事業者 ○整備運営:市町村、交通事業者				
スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	・検討組織設立	・見直し ・検討	・見直し ・検討	・整備 ・見直し、更新	⇒⇒⇒

## 2. 上田地域

### 2-1 地域特性など

- 上田地域は長野県の東部に位置し、上田盆地内に主に市街地が形成されています。盆地以外にも北部の真田地域や千曲川支流の依田川、武石川、内村川などに沿って居住区が続いています。菅平高原など上田市の一部は豪雪地帯にも指定されています。
- 東側に隣接する佐久地域との流動が最も多くなっていますが、長野地域との流動も目立ちます。南西側では松本地域・諏訪地域と、北東側では群馬県と接していますが、これらとの流動も一定のものがあります。
- 圏域の中心地である上田市中心市街地に公共施設、商業施設、病院、高等学校などが多く立地しているほか、上田市域南部に位置する丸子地域中心部にもまとまった市街地があり、公共施設等が立地しています。
- 主な観光地としては、別所温泉、鹿教湯温泉、田沢温泉など温泉資源が豊富なほか、菅平高原、湯の丸高原、美ヶ原高原などの高原エリアもあり、首都圏などから多くの観光客が訪れています。

### 2-2 地域公共交通の概況

- 北陸新幹線が地域の南東から北西に向けて走っており、首都圏と北陸地域を結んでいます。上田駅から東京駅までは最短で80分程度とアクセスが良好です。
- 新幹線の並行在来線として第三セクターのしなの鉄道が運行しており、軽井沢駅から篠ノ井駅間を結んでいます。篠ノ井駅でJR信越本線、JR篠ノ井線に接続しています。また、上田駅からは上田電鉄別所線が別所温泉駅まで運行しています。
- 路線バスについては、地域間幹線系統として千曲バスの青木線、鹿教湯線の2路線、上田バスの真田線、真田自治センター入り口線、菅平高原線の3路線、計5路線が運行されており、これは長野地域に次ぐ規模となっています。
- その他に、市町村界を跨ぐ路線として、事業者運営の路線バスが4本、市町村が運営に関与するコミュニティ路線が2路線あります。
- 定時定路線バスと並んで、各市町村ではデマンド交通により地域住民の移動を確保する取組も進んでいます。
- 上田市及び青木村では、令和7年9月に「上田市・青木村地域公共交通利便増進実施計画」を策定し、地域公共交通ネットワークの再編（折り返し重複区間の解消や地域ニーズ、おでかけ需要を反映したルート変更、増便やパターンダイヤ化による利用しやすいダイヤ設定など路線の品質の向上）、交通事業者の経営基盤強化（運行協定支援事業の創設など）により、地域公共交通の利便性及び持続可能性の向上を図っています。

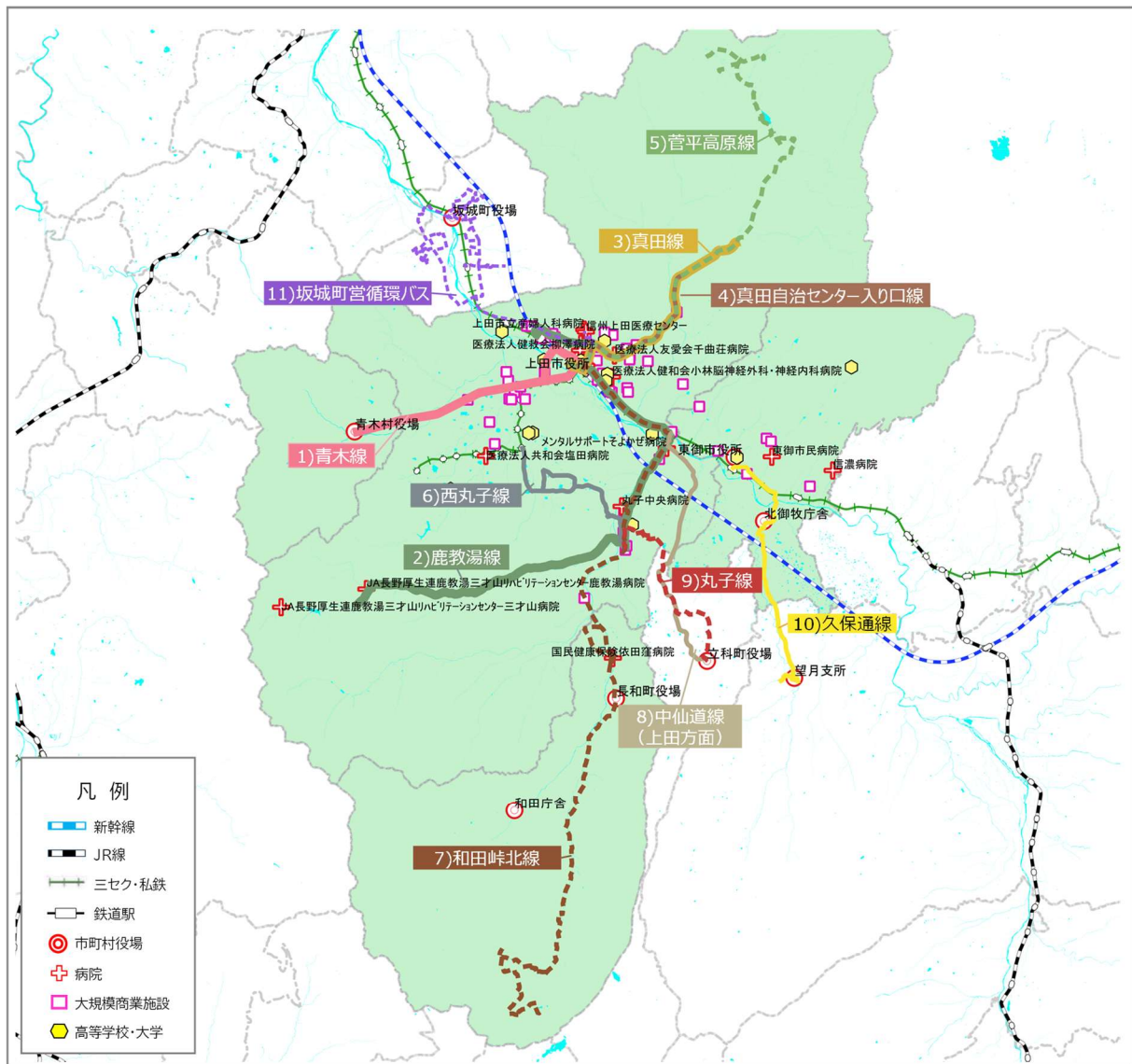
### 2-3 地域公共交通の課題

- 地域の日常生活においては、上田市中心市街地へのアクセス、あるいはしなの鉄道の各駅への接続が担保されていることが非常に重要となります。これにより、佐久・小諸方面や長野方面など地域外への移動にも対応できます。
- 上田地域内の各地域から上田市中心市街地あるいはしなの鉄道各駅へのアクセスは、上田電鉄及びバス事業者による路線バスにより概ね確保されていますが、地域間幹線系統のバス路線と比較すると、長和町から上田市中心市街地を結ぶ和田峠北線（長久保線）は運行本数が少ない状況です。
- 上田市中心市街地から圏域の南部方面に運行するバス路線の多くが、上田市の丸子地域を経由していることから、丸子駅を拠点として、交通事業者の協力・連携を研究することで、ネットワークとしての効率性が高まることも考えられます。
- 主要観光地へのアクセスについては、別所温泉、鹿教湯温泉、菅平高原などは鉄道や路線バスで確保されていますが、地域内には二次交通によるアクセスに課題のある観光地もみられます。
- バス路線を今後も安定的に維持するため、地域間幹線系統補助を活用したいものの、現状では補助要件を満たすのに課題のある路線もみられます。

# 市町村界を跨ぐバス路線の状況

令和5年10月1日現在  
 (データの年次は令和4年度のものの。ただし地域間幹線系統の国庫補助額は令和6年度申請のもの)

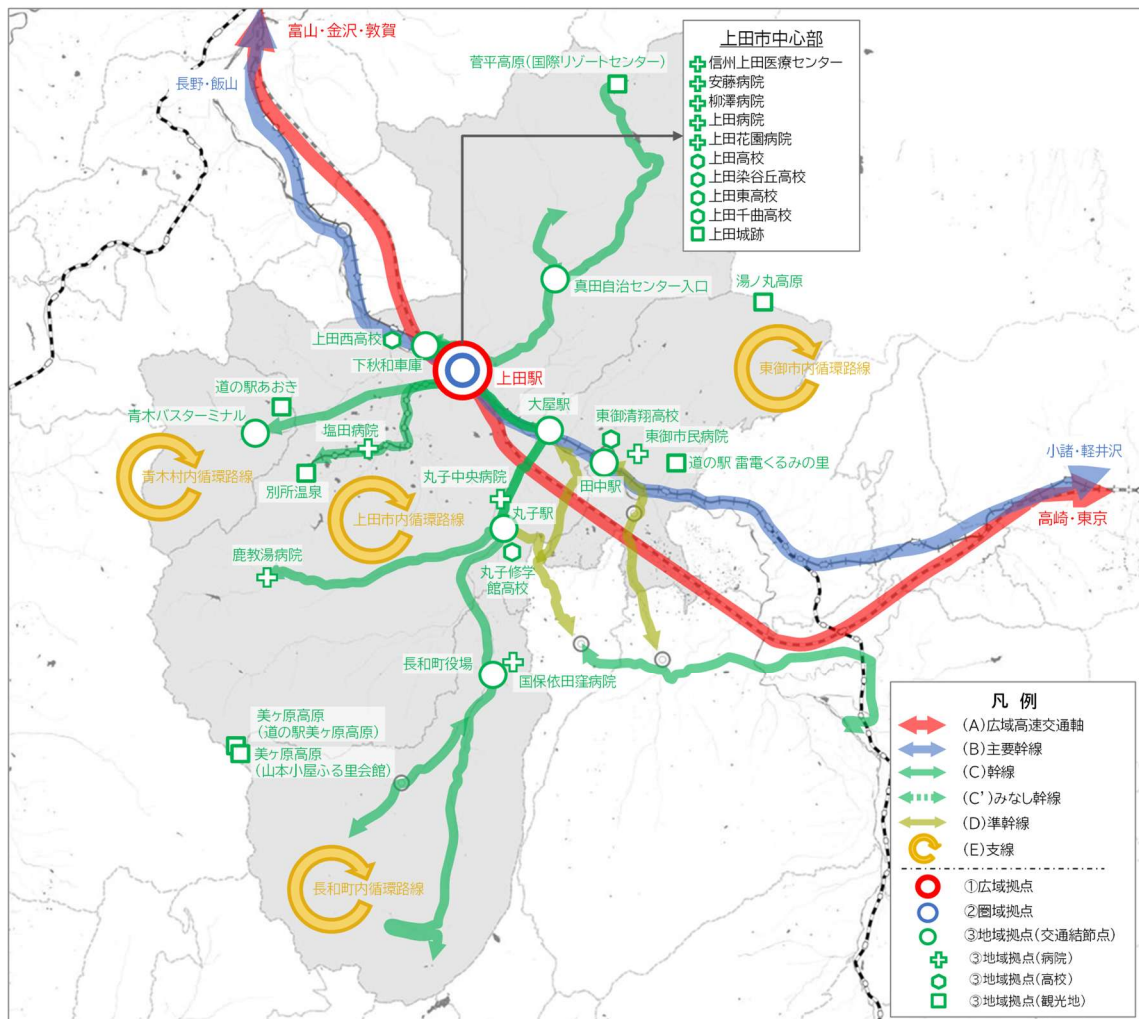
No.	路線種別	運行事業者 (委託先)	路線名	路線 距離	運行便数 (往復数)	利用者数 (輸送人員)	収支率	国庫申請額 (千円)
1	事業者路線 (地域間幹線系統)	千曲バス	青木線	16.4	11.2	144,376	36.4%	14,256.5
			鹿教湯線	17.8	8.2	143,681	43.7%	11,188.0
		上田バス	真田線	12.2	6.5	27,866	21.1%	1,953.0
			真田自治センター入口線	10.5	8.3	35,058	25.9%	10,216.5
			菅平高原線	29.8	7.4	81,703	29.3%	17,974.0
6	事業者路線 (その他一般路線)	上田バス	西丸子線	12.4	6.5	34,718	44.3%	
JRバス関東		和田峠北線(長久保線)	12.0	5.0	30,555	18.3%		
東信観光バス		中仙道線(上田方面)	13.4	9.5	10,152	21.2%		
9			丸子線	11.9	5.5	5,323	20.2%	
10	コミュニティ路線 (廃止代替含む)	しげのまつば タクシー	久保通線	14.8	4.0	2,279	7.3%	
11		信州観光バス	坂城町営循環バス	20.6	12.0	245	0.6%	



2-4 拠点と軸の設定

区分	名称	凡例	位置づけ	具体的な拠点	
拠点	①広域拠点		○三大都市圏などと直接アクセス可能な交通結節点	上田市	・上田駅
	②圏域拠点		○圏域の中心市町の交通結節点		
	③地域拠点		○各市町村中心部の交通結節点 ○中核的な医療機関、高校、主要な観光地、買い物先施設	上田市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大屋駅</li> <li>・丸子駅</li> <li>・真田自治センター入口</li> <li>・下秋和車庫</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li> 信州上田医療センター</li> <li> 鹿教湯病院</li> <li> 安藤病院</li> <li> 丸子中央病院</li> <li> 柳澤病院</li> <li> 上田病院</li> <li> 塩田病院</li> <li> 上田花園病院</li> <li> 上田千曲高校</li> <li> 上田高校</li> <li> 上田染谷丘高校</li> <li> 上田東高校</li> <li> 丸子修学館高校</li> <li> 上田西高校</li> <li> 上田城跡</li> <li> 菅平高原 (国際リゾートセンター)</li> <li> 美ヶ原高原 (道の駅美ヶ原高原)</li> <li> 別所温泉</li> </ul>
				東御市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田中駅</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li> 東御市民病院</li> <li> 東御清翔高校</li> <li> 湯ノ丸高原</li> <li> 道の駅雷電くるみの里</li> </ul>
長和町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長和町役場</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li> 国保依田窪病院</li> <li> 美ヶ原高原 (山本小屋ふる里会館)</li> </ul>				
青木村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青木バスターミナル</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li> 道の駅あおき</li> </ul>				

区分	名称	凡例	位置づけ	具体的な路線
軸・路線	【A】広域高速交通軸		三大都市圏と県内の広域拠点を接続	鉄道 ・北陸新幹線[JR東日本]
	【B】主要幹線		隣接県と県内や県内の広域拠点を接続	鉄道 ・しなの鉄道線[しなの鉄道]
	【C】幹線		圏域拠点と地域拠点を接続	鉄道 ・別所線[上田電鉄]
			(同一市町村内地域間幹線)	バス ・青木線 [千曲バス] ・和田峠北線(長久保線) [JRバス関東] ・鹿教湯線 [千曲バス] ・菅平高原線 [上田バス] ・真田線 [上田バス] ・真田自治センター入口線(傍陽線)[上田バス]
	【D】準幹線		地域拠点と地域拠点を接続	バス ・中仙道線(上田方面) [東信観光バス] ・丸子線[東信観光バス] ・久保通線 [しげのまつバタクシー]
【E】支線		地域拠点と目的施設を接続	バス ・信州上田医療センター線 [上田バス] ・豊殿線[上田バス] ・塩田線[上田バス] ・西丸子線[上田バス] ・武石線[千曲バス] ・祢津線[千曲バス] ・上田市街地循環バス[上田バス] ・祢津・滋野線 [ニュー交通タクシー] ・和線[しげのまつバタクシー] ・各市町村のデマンド交通	



## 2-5 保証すべき品質

- 上田地域では、圏域内の各地区（小学校区単位）から、公共交通等（乗継含む）を利用して通院・通学それぞれの地域拠点に接続できることを保証すべき移動とします。
- 通院については、圏域内の各地区（小学校区単位）から、圏域内の中核的な医療機関（上記 2-4 に掲げる医療機関）の午前の受付時間内に到着でき、受診後遅くとも午後 5 時までに帰宅できることを保証すべき品質とします。
- また、通学については、圏域内の各地区（小学校区単位）から圏域内の高校（上記 2-4 に掲げる高校）の始業前に登校でき、下校時は終業後ほどなく及び課外活動終了後を想定した複数の便があることを保証すべき品質とします。
- 以上の品質保証のため、圏域内の軸・路線を種別ごとに以下のとおり位置づけ、必要な水準を設定します。

種別	品質保証の基本的な考え方			設定する水準	
	通院	通学	観光	運行日	運行時間帯
【B】主要幹線	圏域外の広域拠点と上田圏域を結ぶ路線である。圏域内では主に上田駅と上田市及び東御市内の交通結節点との移動を担う。	圏域外の広域拠点と上田圏域を結ぶ路線である。圏域内では主に上田駅と上田市及び東御市内の交通結節点との移動を担う。	※令和8年度以降に設定予定	平日・土休日とも (休日については減便・運休を想定)	概ね 6～20 時
【C】幹線	圏域拠点と市町村界（又は旧市町村界）を跨いだ地域拠点を結ぶ路線であり、沿線の中核的な医療機関や【E】支線等への乗り継ぎにより、その他の医療機関への移動を担う。	圏域拠点と市町村界（又は旧市町村界）を跨いだ地域拠点を結ぶ路線であり、沿線の高校や【B】主要幹線等への乗り継ぎにより、その他の高校への移動を担う。		平日・土休日とも (休日については減便・運休を想定)	概ね 6～20 時
【D】準幹線	市町村界を跨いで地域拠点同士を結ぶ路線であり、主に【B】主要幹線又は【C】幹線に接続する交通結節点への移動を担う。	市町村界を跨いで地域拠点同士を結ぶ路線であり、主に【B】主要幹線又は【C】幹線に接続する交通結節点への移動を担う。		平日・土休日とも (休日については減便・運休を想定)	概ね 6～18 時
	【E】支線の運行内容は各市町村において設定するものとしているが、目安を下記に掲げる。				
【E】支線	主に圏域内の各地区（小学校区単位）から【B】主要幹線又は【C】幹線に接続する交通結節点への移動を担う。	主に圏域内の各地区（小学校区単位）から【B】主要幹線又は【C】幹線に接続する交通結節点への移動を担う。		平日・土休日とも (休日については減便・運休を想定)	概ね 7～18 時

## 2-6 品質を保証するための具体的な取組

施策	1 幹線の維持・確保				
施策内容	現在の市町村界で市町村をまたいで運行しており、通院・通学の品質保証に必要な以下の2路線をC幹線と位置付け、路線の維持・確保を図る。 【C幹線】 ・青木線 ・和田峠北線(長久保線)				
役割分担	○運行計画立案:交通事業者 ○運行実施:交通事業者 ○運行経費補助:国・県・市町村				
スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	・検討組織設立	・運行内容 確認見直し	・新制度の申請	⇒⇒⇒	⇒⇒⇒

施策	2 通院・通学におけるサービス品質の維持				
施策内容	上田地域において、小学校区を単位とする各地区から、圏域内の通院・通学に係る各地域拠点への移動品質が維持できるよう、年1回程度ダイヤの検証を行い、上田地域別部会の実務分科会等で確認を行う。				
役割分担	○検証:県 ○実務分科会等での確認:県、市町村、交通事業者等				
スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	・検討組織設立	・ダイヤの検証 ・分科会等開催	・ダイヤの検証 ・分科会等開催	⇒⇒⇒	⇒⇒⇒

施策	3 拠点の整備				
施策内容	主要な交通結節点については、待合施設において快適な滞在ができるような設備の整備を検討していく。(デジタルサイネージやWi-Fi設備等) 難しい場合は、上屋、ベンチなどの最低限の待合設備を設けるものとする。				
役割分担	○事業主体:県、市町村、交通事業者 ○整備運営:市町村、交通事業者				
スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	・検討組織設立	・見直し・検討	・見直し・検討	・見直し・検討	・設備維持管理

施策	4 GTFSの整備				
施策内容	圏域内のバス路線の情報を経路検索サービス等で検索できる環境が整備され、利用者がサービスを利用しやすいよう常に最新の情報が掲載されていることを目標とする。 未整備路線については整備をし、整備済の路線については、適宜更新し最新の情報を提供していく。				
役割分担	○事業主体:市町村、交通事業者 ○整備運営:市町村、交通事業者				
スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	・検討組織設立	・見直し ・検討	・見直し ・検討	・整備 ・見直し、更新	⇒⇒⇒

### 3. 諏訪地域

#### 3-1 地域特性など

- 諏訪地域は県の中南部に位置し、西部の諏訪湖周と東部の八ヶ岳山麓に市街地及び居住区が形成されています。諏訪湖周については、諏訪湖の占める面積が大きいため、市街地は限られた平地のなかに比較的まとまっています。
- 北西側で接する松本地域との流動が最も多く、これに次いで南側で接する上伊那地域との流動も多くなっています。佐久地域、上田地域とも接していますが、県境を接する山梨県側との流動のほうが多くなっています。
- 諏訪市中心部、岡谷市中心部に、商業施設、病院、高等学校などのまとまった立地がみられます。このほかに、茅野市、下諏訪町の中心部にも、施設立地が目立ちます。
- 主な観光地としては、白樺湖、霧ヶ峰、八ヶ岳山麓、富士見高原などの高原エリアが多くあることが地域の特色となっています。諏訪湖周辺にも上諏訪温泉、下諏訪温泉、高島城、岡谷の製糸関連の産業遺構などがあります。

#### 3-2 地域公共交通の概況

令和5年10月1日現在

- JR中央本線が南東から北西に向けて走り、特急あずさが新宿と松本を結んでいます。特急は概ね1時間に1本程度、普通列車についても1日を通じて十分な運行本数が確保されており、松本・長野方面などへの日常の足が確保されています。
- 岡谷駅からはJR中央本線辰野支線が辰野駅までを結び、JR飯田線に接続しています。JR飯田線の運行は岡谷始発のものが大半で、伊那、飯田方面に直接アクセスすることができます。
- 路線バスについては、地域間幹線系統としてアルピコ交通の茅野・上諏訪・下諏訪・岡谷線（諏訪本線）が地域間幹線系統として運行しています。
- その他の一般路線として、白樺湖・車山高原線が運行し、高原エリアを結んでいます。この他に市町村界を越えるコミュニティ路線が4路線あります。これらのうち、スワンバスについては、諏訪湖周の3市町で運営する一般的なコミュニティ路線としてスタートしましたが、令和2年に地域間幹線系統補助を新たに取得しています。

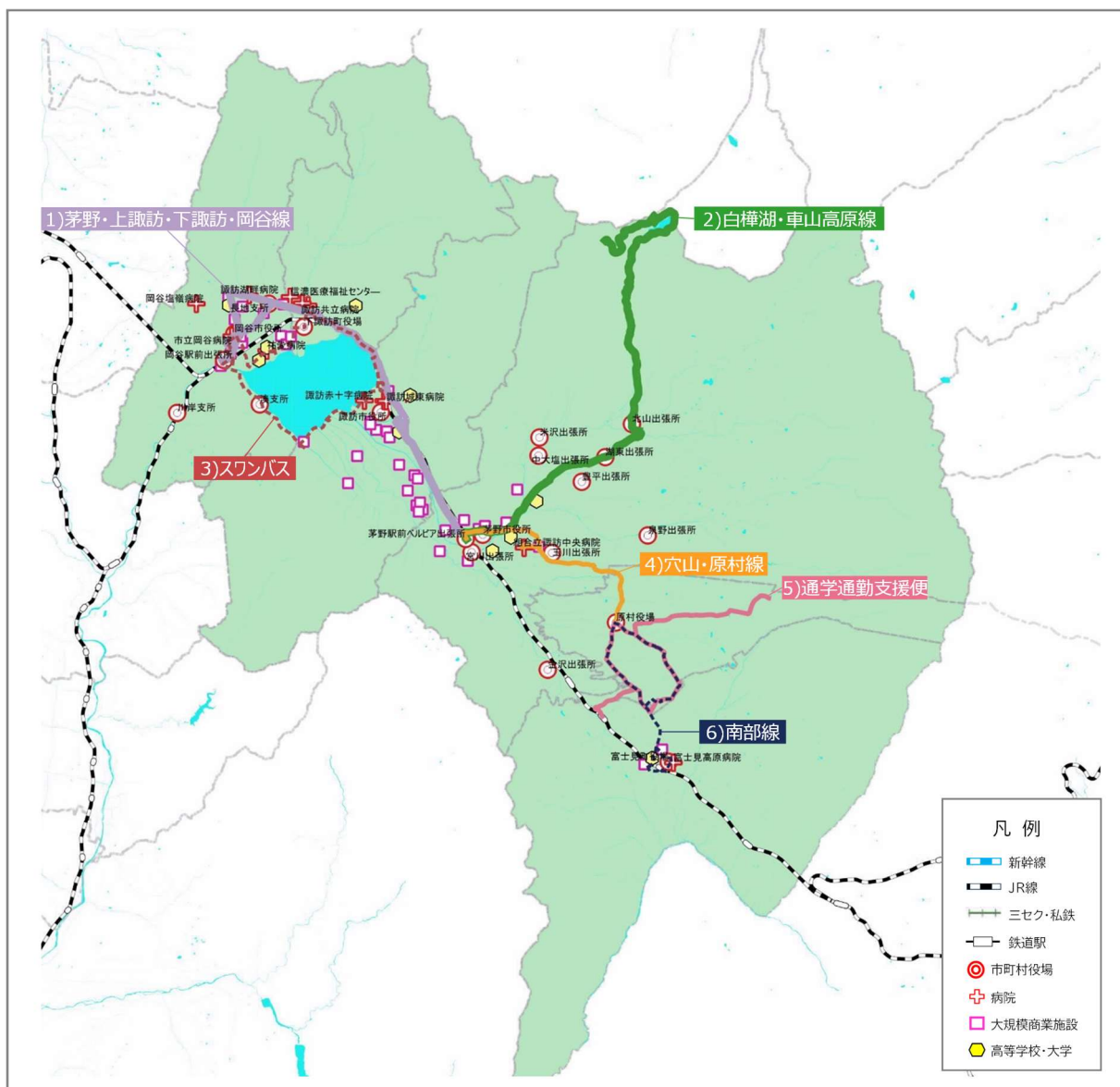
#### 3-3 地域公共交通の課題

- 地域の日常生活においては、諏訪、岡谷市街地等へのアクセスが重要で、そのためのバス路線やJR中央本線各駅への接続の確保が重要になります。JR中央本線への接続が図られることで松本方面や山梨方面など地域外への移動にも対応できます。
- JR中央本線及び辰野支線の沿線地域は、辰野支線の運行本数がやや少ないとはいえ、概ね日常生活に支障のない水準で確保されているといえます。駅から離れた地区についても路線バス、コミュニティバス等でカバーされており、全体的にみても比較的サービス水準の高い地域といえます。
- 路線バスのうち、茅野・上諏訪・下諏訪・岡谷線については、鉄道との並行路線であるものの、上述の通り、駅から離れた地区等をカバーし、施設正面までアクセスできる利用価値の高い路線といえます。同路線は地域間幹線系統の補助対象路線ですが、利用者数が減少するなかで、補助金だけの運営が厳しい状況であり、沿線市町村等からの支援の必要性が高いといえます。
- 観光地へのアクセスについては、諏訪盆地内については概ね良好で、白樺湖エリアもある程度確保されています。霧ヶ峰、八ヶ岳山麓、富士見高原などは季節運行便に限られる状況です。
- リニア中央新幹線の効果を諏訪圏域に波及させるため、県境を接するリニア中央新幹線山梨県駅（仮称）から諏訪地域を結ぶ広域二次交通の整備が必要です。

# 市町村界を跨ぐ主なバス路線の状況

令和5年10月1日現在  
 (データの年次は令和4年度のもの。ただし地域間幹線系統の国庫補助額は令和6年度申請のもの)

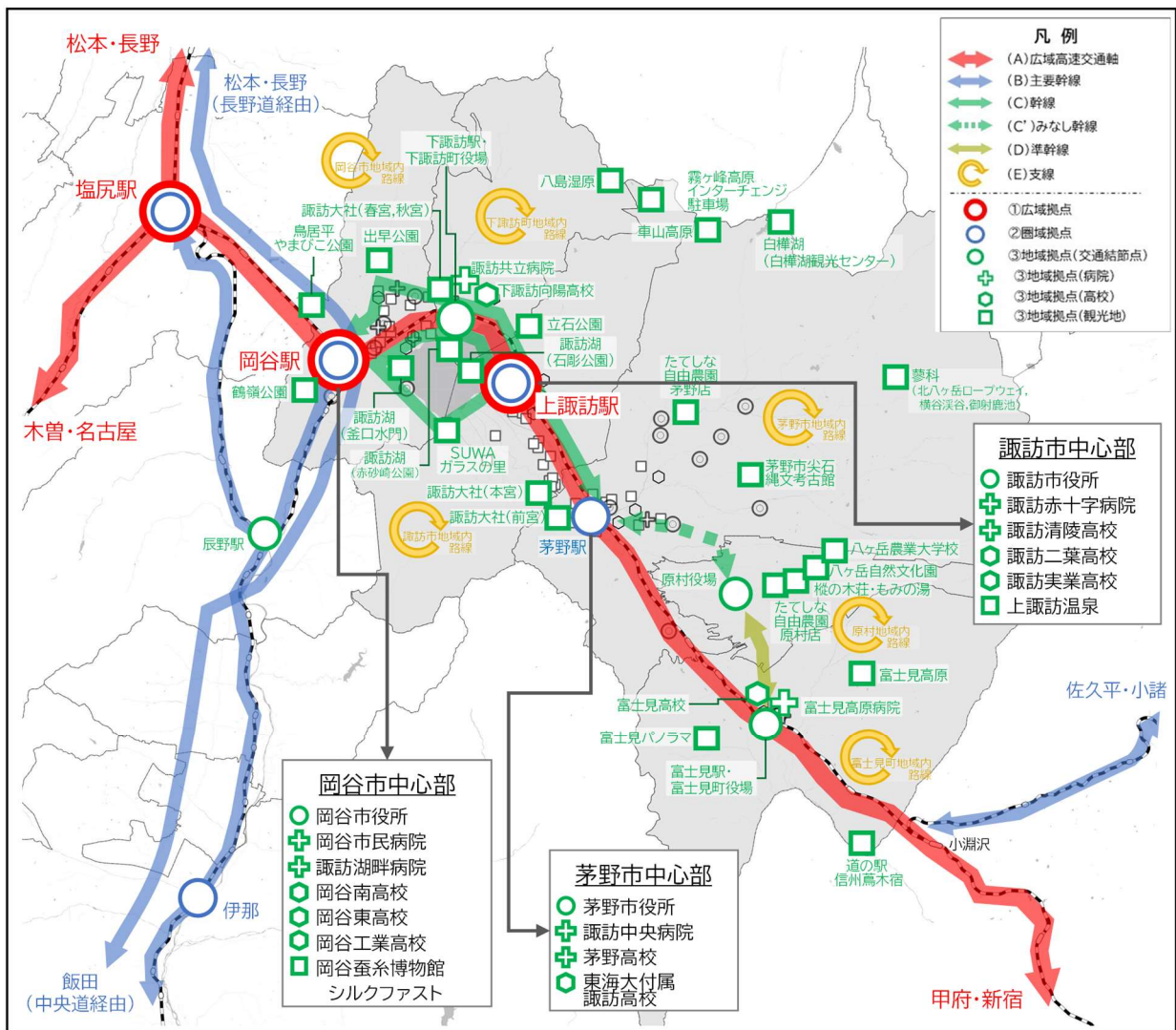
No.	路線種別	運行事業者 (委託先)	路線名	路線 距離	運行便数 (往復数)	利用者数 (輸送人員)	収支率	国庫申請額 (千円)
1	事業者路線 (地域間幹線系統)	アルピコ交通	茅野・上諏訪・下諏訪 ・岡谷線 (諏訪本線)	18.5	9.2	89,326	33.2%	15,511.0
2	事業者路線 (その他一般路線)	アルピコ交通	白樺湖・車山高原線 (定期観光便)	26.4	2.6	22,150	51.2%	
			白樺湖・車山高原線 (通学通勤便)	26.2	1.3			
3	コミュニティ路線 (地域間幹線系統)	諏訪交通	スワンバス (外回り)	26.2	7.0	24,421	24.8%	3,199.0
		JRバス関東	スワンバス (内回り)	26.2	7.0	37,543	19.9%	8,923.5
4	コミュニティ路線 (廃止代替含む)	茅野バス観光	穴山・原村線	24.4	5.5			
アルピコタクシー		通学通勤支援便	14.3	6.0	5,640			
アルピコタクシー		南部線	21.1	3.5				



### 3-4 拠点と軸の設定

区分	名称	凡例	位置づけ	具体的な拠点		
拠点	①広域拠点	○	○三大都市圏などと直接アクセス可能な交通結節点	岡谷市	・岡谷駅	
				諏訪市	・上諏訪駅	
	②圏域拠点	○	○圏域の中心市町の交通結節点	岡谷市	・岡谷駅	
				諏訪市	・上諏訪駅	
				茅野市	・茅野駅	
	③地域拠点	○	○各市町村中心部の交通結節点 ○中核的な医療機関、高校、主要な観光地、買い物先施設	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="color: green;">+</span> ③地域拠点(病院)</li> <li><span style="color: green;">○</span> ③地域拠点(高校)</li> <li><span style="color: green;">□</span> ③地域拠点(観光地)</li> </ul> </div>	岡谷市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岡谷市役所</li> <li><span style="color: green;">+</span> 岡谷市民病院</li> <li><span style="color: green;">+</span> 諏訪湖畔病院</li> <li><span style="color: green;">○</span> 岡谷南高校</li> <li><span style="color: green;">○</span> 岡谷東高校</li> <li><span style="color: green;">○</span> 岡谷工業高校</li> <li><span style="color: green;">□</span> 諏訪湖(釜口水門)</li> <li><span style="color: green;">□</span> 岡谷蚕糸博物館</li> <li>シルクファスト</li> <li><span style="color: green;">□</span> 鶴嶺公園</li> <li><span style="color: green;">□</span> 鳥居平やまびこ公園</li> <li><span style="color: green;">□</span> 出早公園</li> </ul>
					諏訪市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諏訪市役所</li> <li><span style="color: green;">+</span> 諏訪赤十字病院</li> <li><span style="color: green;">○</span> 諏訪清陵高校</li> <li><span style="color: green;">○</span> 諏訪二葉高校</li> <li><span style="color: green;">○</span> 諏訪実業高校</li> <li><span style="color: green;">□</span> 上諏訪温泉</li> <li><span style="color: green;">□</span> 諏訪湖(石彫公園)</li> <li><span style="color: green;">□</span> 霧ヶ峰高原</li> <li>インターチェンジ駐車場</li> <li><span style="color: green;">□</span> 諏訪大社(本宮)</li> <li><span style="color: green;">□</span> 立石公園</li> <li><span style="color: green;">□</span> SUWA ガラスの里</li> </ul>
					茅野市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茅野市役所</li> <li><span style="color: green;">+</span> 諏訪中央病院</li> <li><span style="color: green;">○</span> 茅野高校</li> <li><span style="color: green;">○</span> 東海大付属諏訪高校</li> <li><span style="color: green;">□</span> たてしな自由農園茅野店</li> <li><span style="color: green;">□</span> 白樺湖(白樺湖観光センター)</li> <li><span style="color: green;">□</span> 蓼科(北八ヶ岳ロープウェイ、横谷溪谷、御射鹿池)</li> <li><span style="color: green;">□</span> 車山高原</li> <li><span style="color: green;">□</span> 茅野市尖石縄文考古館</li> <li><span style="color: green;">□</span> 諏訪大社(前宮)</li> </ul>
					下諏訪町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下諏訪駅</li> <li>・下諏訪町役場</li> <li><span style="color: green;">+</span> 諏訪共立病院</li> <li><span style="color: green;">○</span> 下諏訪向陽高校</li> <li><span style="color: green;">□</span> 諏訪湖(赤砂崎公園)</li> <li><span style="color: green;">□</span> 諏訪大社(春宮,秋宮)</li> <li><span style="color: green;">□</span> 八島湿原</li> </ul>
					富士見町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士見駅</li> <li>・富士見町役場</li> <li><span style="color: green;">+</span> 富士見高原病院</li> <li><span style="color: green;">○</span> 富士見高校</li> <li><span style="color: green;">□</span> 富士見高原</li> <li><span style="color: green;">□</span> 富士見パノラマ</li> <li><span style="color: green;">□</span> 道の駅 信州鷲木宿</li> </ul>
					原村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原村役場</li> <li><span style="color: green;">□</span> たてしな自由農園原村店</li> <li><span style="color: green;">□</span> 八ヶ岳自然文化園</li> <li><span style="color: green;">□</span> 八ヶ岳農業大学校</li> <li><span style="color: green;">□</span> 樅の木荘・もみの湯</li> </ul>

区分	名称	凡例	位置づけ	具体的な路線
軸・路線	【A】広域高速交通軸		三大都市圏と県内の広域拠点を接続	鉄道 ・中央本線(特急列車)[JR東日本]
	【B】主要幹線		隣接県と県内や県内の広域拠点を接続	鉄道 ・中央本線(普通列車)[JR東日本] ・中央本線辰野支線[JR東日本] バス ・みずすハイウェイバス[アルピコ交通、伊那バス、信南交通]
	【C】幹線		圏域拠点と地域拠点を接続	バス ・スワンバス[JRバス関東・諏訪交通] ・茅野・上諏訪・下諏訪・岡谷線[アルピコ交通]
	【C'】みなし幹線		主要幹線もしくは幹線への乗継により圏域拠点へ接続	バス ・穴山・原村線[茅野市]
	【D】準幹線		地域拠点と地域拠点を接続	バス ・通勤通学支援便[原村]
	【E】支線		地域拠点と目的施設を接続	バス ・各市町村のコミュニティ交通



### 3-5 保証すべき品質

3-4 で掲げた各連携軸は、次の水準での整備を目指します。

種別	品質保証の基本的な考え方			設定する水準		
	通院	通学	観光	運行日	運行時間帯	運行本数
【B】主要幹線 【JR線】	諏訪地域の各駅を出発し圏域内の中核的な医療機関に午前中(概ね7～10時)に到着。診療を終え、午後の早い時間(概ね12～14時)に帰宅できる便がある。	諏訪地域の各駅を出発し圏域内の高校へ始業開始時刻までに到着。下校時は、終業後ほどなくと塾や部活動後の帰宅にあわせた便がある。	※令和8年度以降に設定予定	平日・土休日とも(同水準で運行)	概ね6～23時	20往復/日以上
【B】主要幹線 【みすずハイウェイバス】	広域的な交通機関の位置づけであり、日常の通院利用は見込まない。	広域的な交通機関の位置づけであり、日常の通学利用は見込まない。		平日・土休日とも(同水準で運行)	概ね5～18時	4往復/日程度
【C】幹線 【C'】みなし幹線	当該軸の沿線居住区を出発して直接もしくは【B】主要幹線、【E】支線への乗継ぎにより圏域内の中核的な医療機関に午前中(概ね7～10時)に到着。診療を終え、午後の早い時間(概ね12～14時)に帰宅できる便がある。	当該軸の沿線居住区を出発して直接もしくは【B】主要幹線、【E】支線への乗継ぎにより圏域内の高校に始業開始時刻までに到着。下校時は、終業後ほどなくと塾や部活動後の帰宅にあわせた便がある。		【C】幹線		
				平日・土休日とも(休日については減便を許容)	概ね7～19時	10往復/日程度(平日)
				【C'】みなし幹線		
				平日・土休日とも(休日については運休を許容)	概ね7～19時	6往復/日程度(平日)
【D】準幹線	当該軸の沿線居住区を出発して直接もしくは【B】主要幹線、【C】幹線、【C'】みなし幹線、【E】支線への乗継ぎにより圏域内の中核的な医療機関に午前中(概ね7～10時)に到着。診療を終え、午後の早い時間(概ね12～14時)に帰宅できる便がある。	当該軸の沿線居住区を出発して直接もしくは【B】主要幹線、【C】幹線、【C'】みなし幹線、【E】支線への乗継ぎにより圏域内の高校に始業開始時刻までに到着。下校時は、終業後ほどなくと塾や部活動後の帰宅にあわせた便がある。		平日・土休日とも(休日については運休を許容)	概ね6～21時	6往復/日程度(平日)
【E】支線	【E】支線の運行内容は各市町村において設定するものとしているが、目安を以下に掲げる					
	圏域内の各居住区を出発して直接もしくは【B】主要幹線、【C】幹線、【C'】みなし幹線、【D】準幹線への乗継ぎにより圏域内の中核的な医療機関に午前中(概ね7～10時)に到着。診療を終え、午後の早い時間(概ね12～14時)に帰宅できる便がある。	圏域内の各居住区を出発して直接もしくは【B】主要幹線、【C】幹線、【C'】みなし幹線、【D】準幹線への乗継ぎにより圏域内の高校に始業開始時刻までに到着。下校時は、終業後ほどなくと塾や部活動後の帰宅にあわせた便がある。		平日・土休日とも(休日については減便・運休を許容)	概ね7～18時	6往復/日程度(平日)

### 3-6 品質を保证するための具体的な取組

施策	1 幹線の維持・確保				
施策内容	現在の市町村界をまたいで運行しており、通院・通学の品質保証に必要な以下の3路線をC幹線もしくはC'みなし幹線と位置付け、路線の維持・確保を図る。 <b>【C 幹線】</b> ①スワンバス ②茅野・上諏訪・下諏訪・岡谷線 <b>【C' みなし幹線】</b> ③穴山原村線 すべての路線について信州型補助の取得を目指し協議を行い、調ったものから順次適用していく。				
役割分担	○運行計画立案:交通事業者 ○運行実施:交通事業者 ○運行経費補助:国・県・市町村				
スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	・検討組織設立	・運行内容確認 見直し	・新制度適用 (路線ごと順次)	⇒⇒⇒	⇒⇒⇒

施策	2 支線の調整				
施策内容	E支線についても一定の品質保証がなされていることが求められる。目安として掲げた品質・水準を参照しながら、各市町村で個別に設定し、当該品質に合致できるよう見直しを行う。				
役割分担	○運行内容確認:各市町村 ○会議運営・進捗管理:県・地域別部会(分科会)				
スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	・検討組織設立	・幹線の保証 品質設定	・支線の保証 品質設定 ・対象路線抽出 ・運行内容確認 見直し	・見直し継続 ・順次運行開始	⇒⇒⇒

## 5. 南信州地域

### 5-1 地域特性など

- 南信州地域は長野県の最南部にあり、隣接する上伊那南部地域との往来が多いほか、岐阜県や愛知県とも比較的強いつながりがあります。
- 西側は木曾地域と接していますが、往来は限られています。
- 圏域の中心である飯田市街地には商業施設、病院、高校などが集まっています。また、圏域の北部、南部、西部にそれぞれ高校があり、北部と南部には病院もあります。
- 主な観光地としては天龍峡、昼神温泉、道の駅とよおかマルシェなどがあり、圏域全体で来訪者の6割が県外客、8割が日帰り客（令和6年（2024年））となっています。

### 5-2 地域公共交通の概況

- JR 飯田線が南北に走り、北は上伊那地域を経て辰野町で中央本線に接続し、南は静岡県浜松市を経て愛知県豊橋市で東海道本線に接続しています。
- 中央自動車道が早期に整備されたため高速バス路線が充実しており、新宿や名古屋を結ぶ往復便は一日を通じて多数運行されています。
- 県内高速バス路線は、飯田市から長野市までを結ぶ「みすずハイウェイバス」が県の南北を直接つなぐ唯一の路線となっており、令和8年（2026年）現在1日7往復運行されています。
- 圏域内の路線バスは飯田市街地や飯田駅に向かう路線が多いほか、JR 飯田線の主要駅に接続する路線もあります。
- 信南交通駒場線が唯一の国庫補助対象地域間幹線系統で、その他に市町村界を越えるコミュニティ路線が多数あります。
- 現在、南信州地域ではリニア中央新幹線の工事が進んでおり、飯田市上郷飯沼地区に長野県駅（仮称）が設置される予定で、三大都市圏からの新たな玄関口となります。

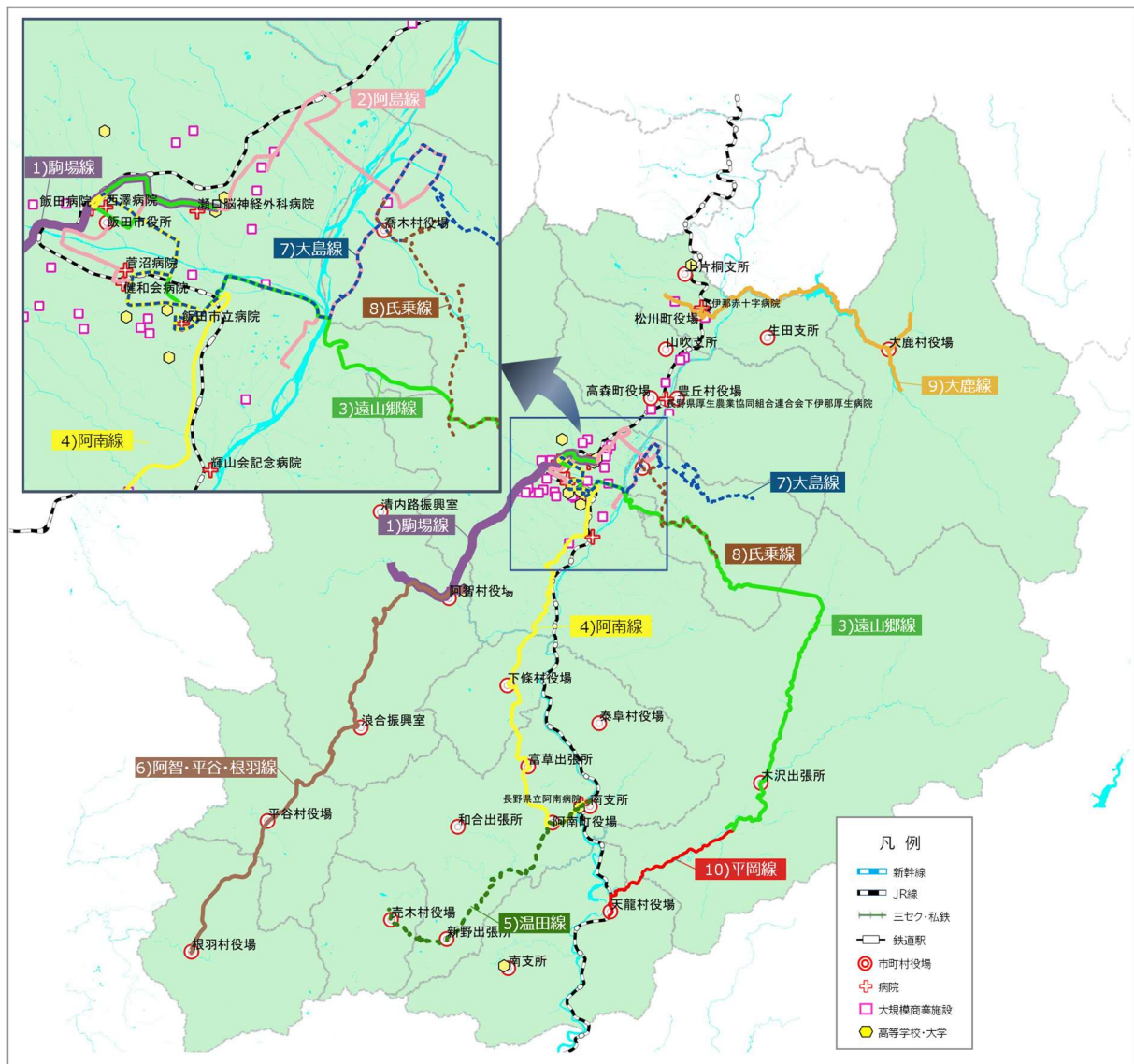
### 5-3 地域公共交通の課題

- 南信州地域は公共交通基盤が脆弱で、自家用車での移動が主流となっています。他方、高校や総合病院が飯田市街地に集中しているため、通学や通院で公共交通を利用する住民も一定数いることから、市街地やJR 飯田線主要駅へのアクセスを確保する必要があります。
- 加えて、県内の中でも人口減少が進んでおり、公共交通利用者の更なる減少が懸念されています。
- 平成19年（2007年）に圏域内のバス事業者が路線縮小を打ち出したことで、圏域全体の路線再編が課題となったことから、圏域市町村が設立した南信州地域交通問題協議会（法定協議会）で平成21年（2009年）に「南信州地域公共交通計画」が策定されました。この計画では圏域内の路線を基幹路線、准基幹路線、支線の3区分に分け、圏域全体で統一的なルールに沿って運行主体と連携した無駄のない運行経路を設定しています。計画はこれまで3回更新され、バス路線だけでなく乗合タクシーやデマンド交通も導入されるなど、毎年PDCAを運用しています。なお、県地域公共交通計画地域編には南信州地域公共交通計画が反映されています。
- 圏域内の主な観光地へのアクセスは鉄道や路線バスにより確保されていますが、移動手段の中心は自家用車やレンタカーとなっています。
- 今後、リニア中央新幹線長野県駅（仮称）が広域拠点となるため、開業を見据えて同駅を起点とした公共交通体系の検討が必要です。
- JR 飯田線は駅間が短く運行本数も少ないことから、広域圏間を結ぶ移動手段としての速達性に課題があり、これを補完するため高速バスの活用が重要となっています。
- 加えて、公共交通のドライバー不足が顕在化し、路線の維持が難しくなっている現状を踏まえて、より効率的で持続可能な公共交通体系に圏域全体で見直すことが必要です。

# 市町村界を跨ぐ主なバス路線の状況

令和5年10月1日現在  
 (データの年次は令和4年度のものを。ただし地域間幹線系統の国庫補助額は令和6年度申請のもの)

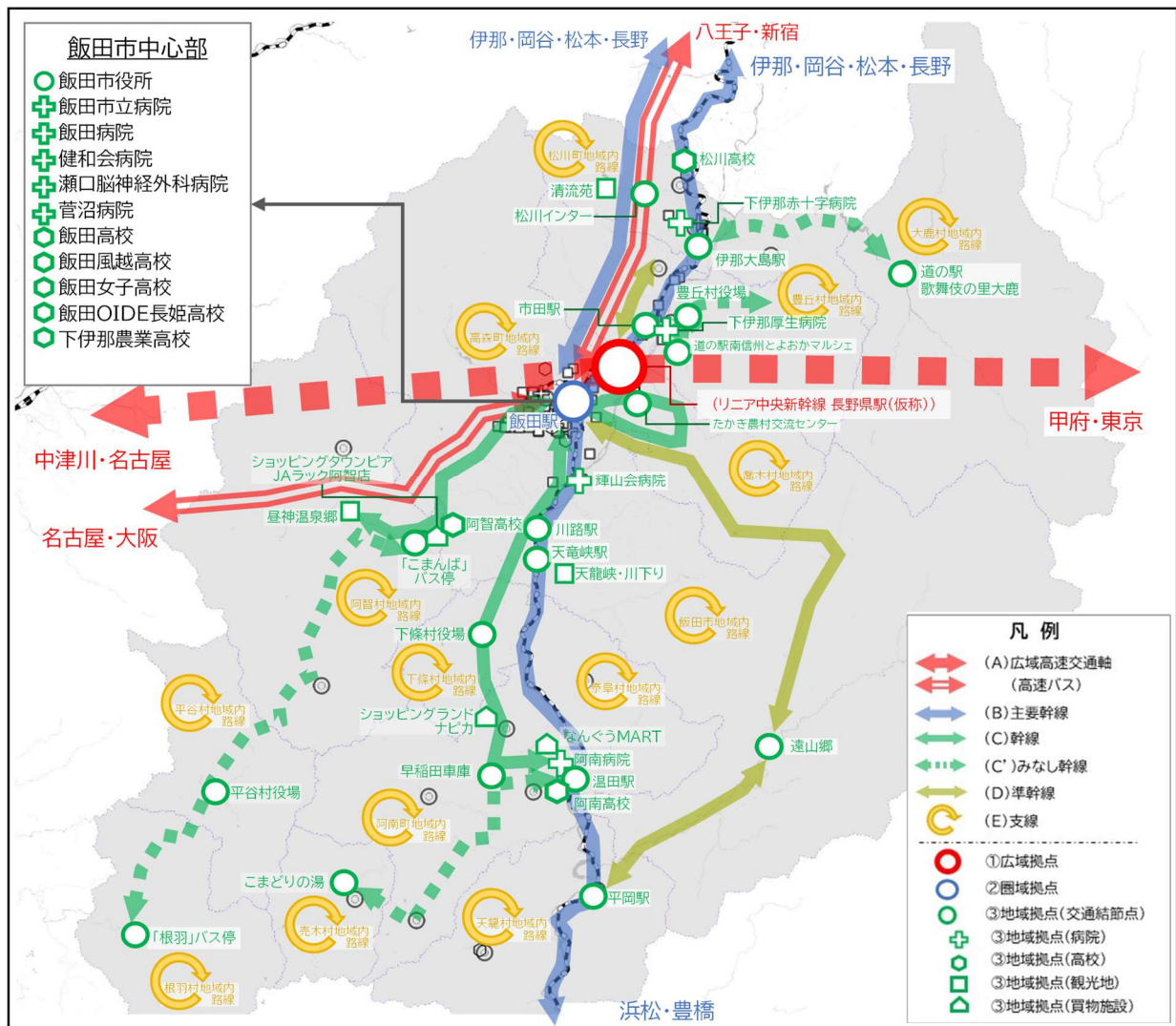
No.	路線種別	運行事業者 (委託先)	路線名	路線距離 (km)	運行便数 (往復数)	利用者数 (輸送人員)	収支率	国庫申請額 (千円)
1	事業者路線 (地域間幹線系統)	信南交通	駒場線(中村経由)	11.8	5.8	56,260	61.1%	11,300
			駒場線 (市立病院経由)	18.1	3.9	35,793	38.2%	3,799
2	コミュニティ路線 (廃止代替含む)	信南交通	阿島線	25.5	4.0	22,037	14.4%	—
3		信南交通	遠山郷線	48.6	3.5	11,796	9.9%	—
4		大新東	阿南線	51.9	7.0	22,380	20.7%	—
5		大新東	温田線	23.7	7.0	6,048	5.8%	—
6		根羽観光バス	阿智・平谷・根羽線	34.2	5.0	9,344	8.6%	—
7		北部タクシー	喬木大島線	34.7	4.0	1,852	1.3%	—
8		北部タクシー	氏乗線	24.3	5.0	1,990		—
9		伊那バス	大鹿線	25.5	4.0	7,587	3.9%	—
10		遠山タクシー	平岡線	11.0	2.0	1,917	3.4%	—



5-4 拠点と軸の設定

区分	名称	凡例	位置づけ	具体的な拠点		
拠点	①広域拠点		○三大都市圏などと直接アクセス可能な交通結節点	飯田市	・(リニア中央新幹線長野県駅(仮称))	
	②圏域拠点		○圏域の中心市町の交通結節点	飯田市	・飯田駅 ・飯田市立病院	
	③地域拠点		○各市町村中心部の交通結節点 ○中核的な医療機関、高校、主要な観光地、買い物先施設	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li> ③地域拠点(病院)</li> <li> ③地域拠点(高校)</li> <li> ③地域拠点(観光地)</li> <li> ③地域拠点(買物施設)</li> </ul> </div>	飯田市	・飯田市役所 ・川路駅 ・天竜峡駅 ・遠山郷(和田) ..... 飯田市立病院 飯田病院 健和会病院 輝山会病院 瀬口脳神経外科病院 菅沼病院 飯田高校 飯田風越高校 飯田女子高校 飯田OIDE長姫高校 下伊那農業高校 天龍峡・川下り
					松川町	・伊那大島駅 ・松川インター ..... 下伊那赤十字病院 松川高校 清流苑
					高森町	・市田駅 ..... 下伊那厚生病院
					阿南町	・早稲田車庫前 ..... 阿南病院 阿南高校 ショッピングランドナピカ なんぐうMART
					阿智村	・「こまんば」バス停 ..... 阿智高校 昼神温泉郷 ショッピングタウンピア JAラック阿智店
					平谷村	・平谷村役場
					根羽村	・「根羽」バス停
					下條村	・下條村役場
					売木村	・こまどりの湯
					天龍村	・平岡駅
					泰阜村	・温田駅
					喬木村	・たかぎ農村交流センター
					豊丘村	・道の駅南信州とよおかマルシェ ・豊丘村役場
大鹿村	・道の駅歌舞伎の里大鹿					

区分	名称	凡例	位置づけ	具体的な路線	
軸・路線	[A]広域高速交通軸		三大都市圏と県内の広域拠点を接続	鉄道	・(リニア中央新幹線 [JR東海])
				高速バス	・中央道 高速バス [信南交通ほか]
	[B]主要幹線		隣接県と県内や県内の広域拠点を接続	鉄道	・飯田線 [JR東海]
				バス	・みすずハイウェイバス [アルピコ交通、伊那バス、信南交通]
	[C]幹線		圏域拠点と地域拠点を接続	バス	・駒場線 [飯田市] ・阿島線 [飯田市] ・阿南線 [下伊那南部事務組合]
	[C']みなし幹線		主要幹線もしくは幹線への乗継により圏域拠点へ接続	バス	・温田線 [下伊那南部事務組合] ・西部コミュニティバス [西部コミュニティバスを守り育てる会] ・大鹿線 [大鹿村] ・堀越線 [豊丘村]
[D]準幹線		地域拠点と地域拠点を接続	バス 乗合タクシー	・市町村界を跨ぐコミュニティ交通 ・遠山郷線 [飯田市] ・平岡線 [飯田市] ・乗合タクシー上市田線 [飯田市] 等	
[E]支線		地域拠点と目的施設を接続	バス 乗合タクシー	・各市町村のコミュニティ交通	



5-5 保証すべき品質

種別	品質保証の基本的な考え方				設定する水準	
	通院	通学	生活 (買い物)	観光	運行日	運行 時間帯
【B】主要幹線	南信州圏域を出発して圏域外の病院に午前中に到着。診療を終え、帰宅できる便がある、	飯田駅を出発して上伊那圏域の高校や松本圏域の学校への登下校に対応した便がある。	—	個別の観光地に合わせた路線や駅の設定などは行わないが、観光ニーズに対応した便が確保されている。	平日・土日 祝日も  (同水準で運行)	概ね 5～23時
【C】幹線	当該軸の沿線の居住区を出発して直接もしくは[E]支線への乗継により飯田市立病院及び地域医療を担う病院(ブロック地域内・飯田市内)に午前中に到着。診療を終え帰宅できる便がある。地域医療を担う病院については、お昼前後に帰宅できる便がある。	当該軸の沿線の居住区から沿線の高校または飯田市内の高校への登下校に対応した便がある。  下校時は、終業後ほどなくと塾や部活動後の帰宅に合わせた便がある。	ブロック地域内において、当該軸の沿線の居住区から、地域拠点に設定した買い物施設(※)を営業時間内に利用できる往復の便がある。(西部、南部ブロックが該当)	当該軸に近接した観光地へのアクセスを視野に入れ、路線・バス停の設定に努める。観光客の移動にあわせ、午前中は到着列車、午後は出発列車と接続できるようダイヤの調整に努める。	平日・土日 祝日も  (土日祝については減便を許容)	概ね 6～20時
【D】準幹線	<b>[D]準幹線の運行内容は各市町村において設定するものとしているが、目安を以下に掲げる</b>					
【D】準幹線	当該軸の沿線の居住区を出発して直接もしくは[E]支線への乗継により飯田市立病院及び地域医療を担う病院(ブロック地域内・飯田市内)に午前中に到着。診療を終え帰宅できる便がある。地域医療を担う病院については、お昼前後に帰宅できる便がある。	当該軸の沿線の居住区からブロック地域内の高校及び[C]幹線または[E]支線への乗り換えによる飯田市内の高校への登下校に対応した便がある。下校時は、終業後ほどなくと塾や部活動後の帰宅に合わせた便がある。	該当する準幹線なし。 買い物施設を新たに設定する際に該当する場合は【C】幹線と同等の水準とする。	当該軸に近接した観光地へのアクセスを視野に入れ、路線・バス停の設定に努める。観光客の移動にあわせ、午前中は到着列車、午後は出発列車と接続できるようダイヤの調整に努める。	平日・土日 祝日も  (土日祝については減便を許容)	概ね 6～18時
【E】支線	<b>[E]支線の運行内容は各市町村において設定するものとしているが、目安を以下に掲げる</b>					
【E】支線	圏域内の各居住区を出発して直接もしくは[C]幹線及び[E]支線の乗継により飯田市立病院及び地域医療を担う病院(ブロック地域内・飯田市内)に午前中に到着。診療を終え帰宅できる便がある。地域医療を担う病院については、お昼前後に帰宅できる便がある。	圏域内の各居住区を出発して直接もしくは[C]幹線への乗継によりブロック地域内の高校及び飯田市内の高校への登下校に対応した便がある。下校時は、終業後ほどなくと塾や部活動後の帰宅に合わせた便がある。	ブロック地域内において、各居住区から、[C]幹線及び[E]支線の乗継により、地域拠点に設定した買い物施設(※)を営業時間内に利用できる往復の便がある。(西部、南部ブロックが該当)	バスによるアクセスを必要とする観光地を各市町村が地域拠点と位置付ける場合は、[B]主要幹線、[C]幹線からの乗継等を考慮したうえで、[E]支線の路線・バス停の設定とダイヤの調整に努める。	平日・土日祝 日も  (土日祝については減便を許容)	概ね 7～19時

※生活(買い物)について、スーパー等の買い物施設が少ない地域が存在することから、ブロックごとに必要に応じて買い物施設を地域拠点として設定  
※観光については令和8年度以降も引き続き検討

## 5-6 品質を保証するための具体的な取組（抜粋）

施策	1 広域幹線の位置付けと運行				
施策内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市町村を跨いで運行する(平成の大合併前の区分も含む)、地域間幹線系統の補助要件に適合できる可能性を持つ以下の3路線を広域圏全体としての「幹線」に位置付ける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①駒場線、②阿島線、③阿南線</li> </ul> </li> <li>○他の路線と接続したうえで周辺町村の地域拠点と圏域拠点である飯田駅をつなぐ以下の4路線を「みなし幹線」として位置付ける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①温田線(JR 飯田線との接続)、②西部コミュニティバス(駒場線との接続)</li> <li>③大鹿線(JR 飯田線との接続)、④堀越線(JR 飯田線との接続)</li> </ul> </li> </ul>				
役割分担	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画立案＝法定協、沿線市町村、交通事業者</li> <li>○事業主体＝市町村、交通事業者</li> <li>○運行実施＝交通事業者等</li> </ul>				
スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	・検討組織設立(交通問題協議会を県法定協地域別部会に位置づけ)	・路線・地域拠点の再検討 ・市町村協議会との調整	・PDCAサイクルによる見直し ・運行継続	・PDCAサイクルによる見直し ・運行継続	・PDCAサイクルによる見直し ・運行継続

施策	2 持続可能で無理のない公共交通				
施策内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現状の路線定期運行、区域運行の実態を検証し、輸送資源を有効に活用する持続可能な運行のため、必要に応じた運行形態の見直しを検討</li> <li>○各路線の利用状況、利用需要を把握し、運行便数、運行経路、ダイヤ、運賃についての見直しの必要性等を検討</li> </ul>				
役割分担	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画立案＝法定協(複数市町村路線)、市町村(市町村単独路線)、交通事業者</li> <li>○検討実施＝市町村協議会(市町村、交通事業者、利用者代表者等)</li> <li>○事業主体＝市町村、交通事業者</li> <li>○運行実施＝交通事業者等</li> </ul>				
スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	・検討組織設立(交通問題協議会を県法定協地域別部会に位置づけ)	・国パイロット事業及びPDCAサイクルによる見直し ・運行実施	・PDCAサイクルによる見直し ・運行実施	・PDCAサイクルによる見直し ・運行実施	・PDCAサイクルによる見直し ・運行実施

施策	3 移動手段として「選ばれる」公共交通				
施策内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○圏域内を快適に移動できるよう、路線間の連携の検討や使いやすい利用環境の構築に努める</li> <li>○わかりやすさ・安心感の向上を目的とした情報提供の実施</li> </ul>				
役割分担	<ul style="list-style-type: none"> <li>○乗継ダイヤの調整＝市町村、交通事業者等</li> <li>○情報発信＝法定協(圏域全体)、市町村、交通事業者等</li> </ul>				
スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	・検討組織設立(交通問題協議会を県法定協地域別部会に位置づけ)	・PDCAサイクルによる見直し ・事業実施	・PDCAサイクルによる見直し ・事業実施	・PDCAサイクルによる見直し ・事業実施	・PDCAサイクルによる見直し ・事業実施

## 7. 松本地域

### 7-1 地域特性など

- 松本地域は県の中部に位置し、南北に広がる松本盆地に市街地が形成され、県内では長野地域に次ぐ都市規模を有しています。北部の3村は松本盆地以外からは離れた犀川流域、筑北盆地に居住区などが形成されています。この他に松本市四賀地区、安曇地区、奈川地区など、山間部にも居住区が点在しています。松本市と安曇野市の西部は豪雪地帯にも指定されています。
- 北側で接する北アルプス地域との流動が最も多く、これに次いで南側で接する諏訪地域との流動も多くなっています。県中部に位置することから、長野地域、上田地域、上伊那地域、木曾地域など多方面との流動が一定数あることが特徴といえます。
- 公共公益施設などは、圏域の中心都市である松本市街地への集積が目立ちますが、塩尻市中心部、安曇野市中心部にもまとまった立地がみられます。この他にも松本市村井、塩尻市広丘、安曇野市穂高・明科などに施設立地がみられます。
- 主な観光地としては、松本城などがある松本市街地のほか、上高地、乗鞍高原、美ヶ原などの山岳系の観光地が多いことも地域の特色となっています。この他に奈良井宿、穂高・安曇野湧水群、聖高原などがあります。

### 7-2 地域公共交通の概況

- 松本地域の鉄道網は、中央本線（中央東線、中央西線）篠ノ井線、大糸線のJR線とアルピコ交通上高地線が運行しており、このうち松本駅と塩尻駅は、複数の路線が接続し、交通の要衝となっています。
- 特急列車については、新宿から中央東線と篠ノ井線を経由して松本に至る特急あずさが、名古屋から中央西線と篠ノ井線を経由して長野に至る特急しなのが運行しています。両特急ともに概ね1時間に1本の運行があります。
- 普通列車についても、中央東線、篠ノ井線、大糸線、上高地線については1日を通じて十分な運行本数が確保されており、長野方面、諏訪方面、大町方面などへの日常の足が確保されています。一方、中央西線、中央東線辰野支線については、2時間以上運行間隔が空く時間帯などもあり、運行本数は多いとはいえない状況です。
- 路線バスについては、地域間幹線系統として山形線、四賀線の2路線があります。
- この他に市町村界を越えるコミュニティ路線が14路線あります。
- 鉄道駅がない生坂村、山形村、朝日村では、村営バス等により最寄りの鉄道駅を結んでいます。
- 松本市、山形村、朝日村の3市村では一体的な地域公共交通計画が策定されており、令和5年4月から公設民営方式による運行が始まっています。令和5年10月には国の「エリア一括協定運行事業」が全国で初めて適用されました。
- 市村内では、朝夕の時間帯を中心とした定時定路線バスに加え、通院や買い物などの足を確保するため、循環バスやデマンドバスが運行されています。

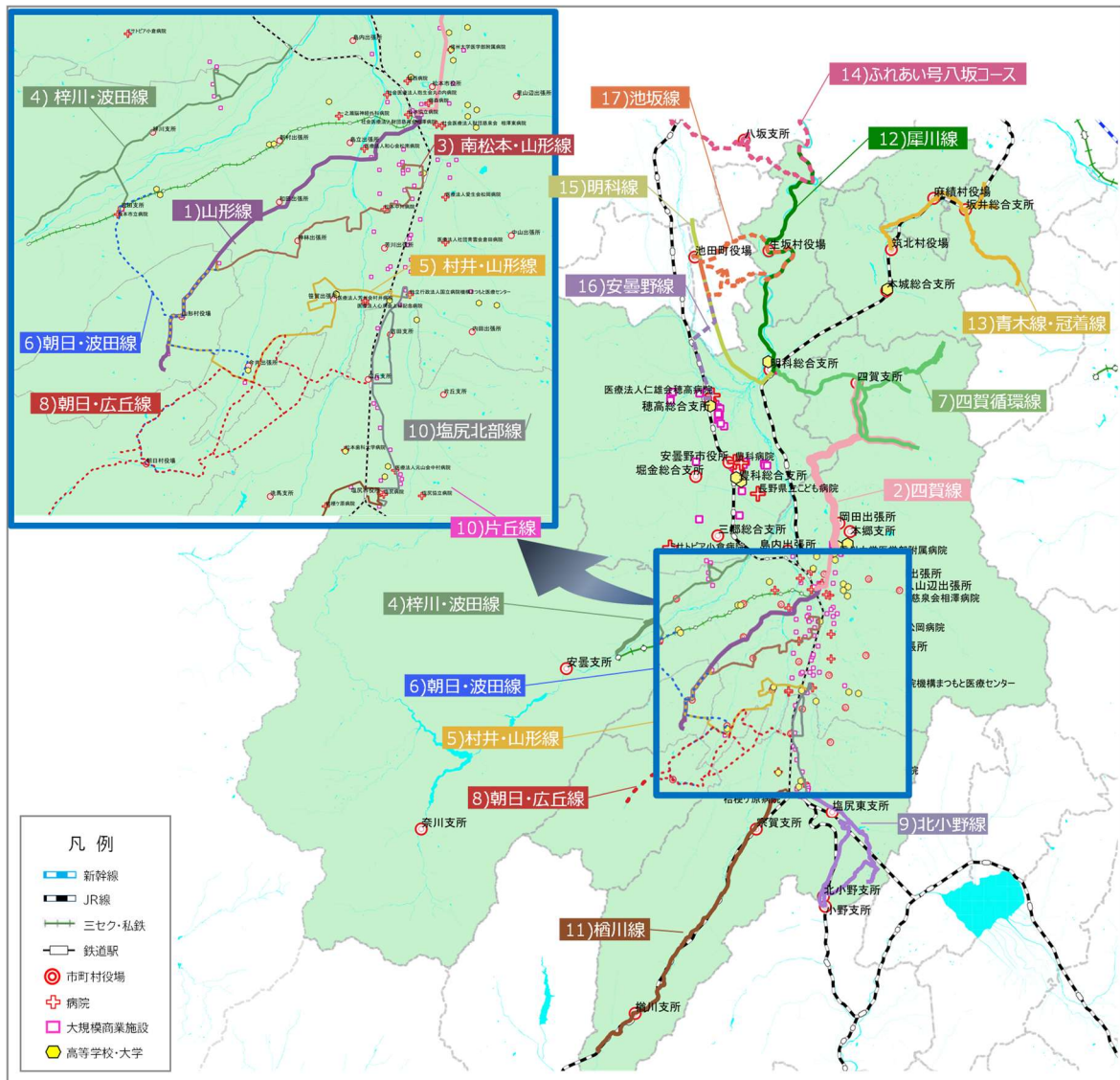
### 7-3 地域公共交通の課題

- 地域の日常生活においては、松本、塩尻、安曇野などの各市街地へのアクセスが重要で、そのために各鉄道路線への接続が担保されていることが非常に重要となります。鉄道路線に接続することで、地域外の各方面への移動にも対応できます。
- ただし、鉄道路線のうち、JR中央西線、中央東線辰野支線については、普通列車の運行本数が少なく、利便性の観点で課題があるといえます。
- 観光地へのアクセスは、上高地・乗鞍方面については、上高地線とこれに接続する路線バスで概ね確保されているほか、奈良井宿も鉄道駅に接しており、概ね良好といえます。美ヶ原、安曇野方面へのバスは、季節限定で運行されています。

# 市町村界を跨ぐ主なバス路線の状況

令和 5 年 10 月 1 日現在  
 (データの年次は令和 4 年度のもの。ただし地域間幹線系統の  
 国庫補助額は令和 6 年度申請のもの)

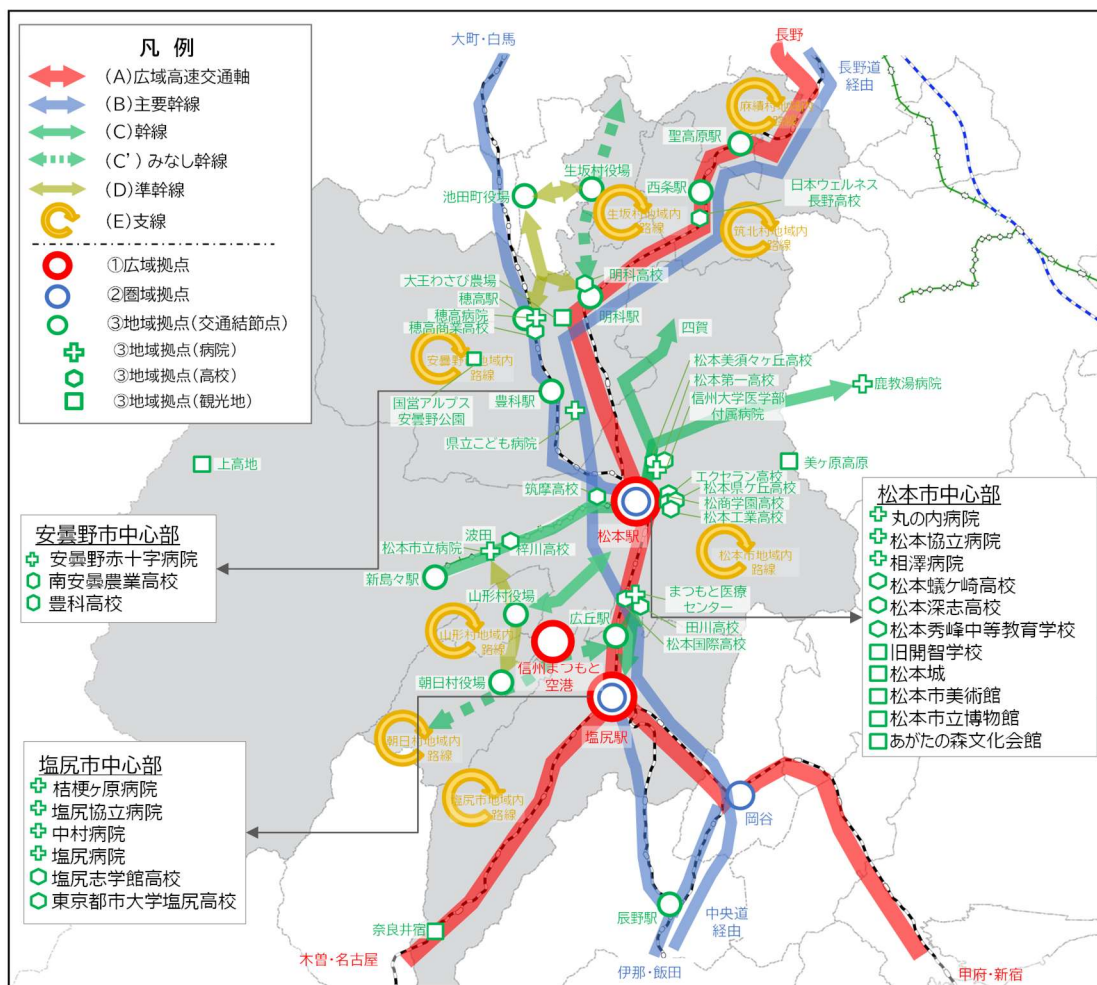
No.	路線種別	運行事業者 (委託先)	路線名	路線 距離 (km)	運行便数 (往復数)	利用者数 (輸送人員)	収支率	国庫申請額 (千円)
1	事業者路線 (国：エリア一括協定 運行路線 県：地域間幹線系統 補助対象路線)	アルピコ交通	山形線	15.1	7.2	68,558	62.7%	21108.5
2		アルピコ交通	四賀線	20.5	7.0	47,124	46.5%	14,461
3	コミュニティ路線 (廃止代替含む)	アルピコ交通 (アルピコタクシー)	南松本・山形線	12.2	8.5	R5.4 に大幅な再編又は 新設が行われたため、データなし		
4		"	梓川・波田線	18.7	5.0			
5		"	村井・山形線	19.0	11.5			
6		"	朝日・波田線	25.8	4.0			
7		アルピコタクシー	四賀循環線	7.9	9.0		4,164	18.0%
8		アルピコタクシー	朝日・広丘線	16.5	7.5	18,795	19.7%	
9		アルピコタクシー	北小野線	31.8	8.0	9,261	8.0%	
10		アルピコタクシー	塩尻北部線	20.6	4.0	11,938	10.3%	
11		大新東	榎川線	20.5	11.5	21,294	9.8%	
12		安曇観光タクシー	犀川線	16.4	5.5			
13		聖高原バス	青木線・冠着線	20.6	9.0			
14		やまびこ	ふれあい号八坂コース	28.8	6.5	8,822	7.3%	
15		安曇観光タクシー	明科線	13.2	6.0	12,565	41.2%	
16		安曇観光タクシー	安曇野線	11.1	6.0	7,973	26.1%	
17		安曇観光タクシー	池坂線	24.7	3.0	1,897	22.3%	



7-4 拠点と軸の設定

区分	名称	凡例	位置づけ	具体的な拠点・路線	
拠点	①広域拠点		○三大都市圏などと直接アクセス可能な交通結節点	松本市 ・松本駅 ・松本空港 塩尻市 ・塩尻駅	
	②圏域拠点		○圏域の中心市村の交通結節点	松本市 ・松本駅 塩尻市 ・塩尻駅	
	③地域拠点		○各市村中心部の交通結節点、目的先施設 ○中核的な医療機関、高校、主要な観光地、買い物先施設	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> <li> ③地域拠点(病院)</li> <li> ③地域拠点(高校)</li> <li> ③地域拠点(観光地)</li> </ul> </div>	松本市 ・新島々駅 <ul style="list-style-type: none"> <li> 信州大学医学部附属病院</li> <li> 相澤病院</li> <li> まつもと医療センター</li> <li> 松本協立病院</li> <li> 丸の内病院</li> <li> 松本市立病院</li> <li> 鹿教湯病院(上田市)</li> <li> 私立松本国際高等学校</li> <li> 私立松本秀峰中等教育学校</li> <li> 長野県松本県ヶ丘高等学校</li> <li> 私立松商学園高等学校</li> <li> 私立エクセラン高等学校</li> <li> 長野県松本工業高等学校</li> <li> 長野県松本蟻ヶ崎高等学校</li> <li> 長野県松本深志高等学校</li> <li> 長野県松本美須ヶ丘高等学校</li> <li> 私立松本第一高等学校</li> <li> 長野県松本筑摩高等学校</li> <li> 長野県梓川高等学校</li> <li> 松本城</li> <li> 旧開智学校</li> <li> 松本市立博物館</li> <li> 松本市美術館</li> <li> あがたの森文化会館(旧制松本高等学校)</li> <li> 上高地</li> <li> 美ヶ原高原</li> </ul>
					塩尻市 ・広丘駅 <ul style="list-style-type: none"> <li> 桔梗ヶ原病院</li> <li> 塩尻協立病院</li> <li> 中村病院</li> <li> 塩尻病院</li> <li> 長野県塩尻志学館高等学校</li> <li> 私立東京都市大学塩尻高等学校</li> <li> 長野県田川高等学校</li> <li> 奈良井宿</li> </ul>
					安曇野市 ・豊科駅 ・穂高駅 ・明科駅 <ul style="list-style-type: none"> <li> 県立こども病院</li> <li> 安曇野赤十字病院</li> <li> 穂高病院</li> <li> 長野県明科高等学校</li> <li> 長野県豊科高等学校</li> <li> 長野県南安曇農業高等学校</li> <li> 長野県穂高商業高等学校</li> <li> 大王わさび農場</li> <li> 国営アルプスあづみの公園 堀金・穂高地区</li> </ul>
					麻績村 ・聖高原駅
					生坂村 ・生坂村役場(周辺)
					山形村 ・山形村役場(周辺)
					朝日村 ・朝日村役場(周辺)
					筑北村 ・西条駅 <ul style="list-style-type: none"> <li> 私立日本ウェルネス長野高等学校</li> </ul>

区分	名称	凡例	位置づけ	具体的な拠点・路線
軸・路線	【A】広域高速交通軸		三大都市圏と県内の広域拠点を接続	鉄道・航空 ・中央東線(特急列車)[JR東日本] ・中央西線(特急列車)[JR東海] ・篠ノ井線(特急列車)[JR東日本] ・航空路線[FDA]
	【B】主要幹線		隣接県と県内や県内の広域拠点を接続	鉄道 ・中央東線(普通列車)[JR東日本] ・中央西線(普通列車)[JR東海] ・篠ノ井線(普通列車)[JR東日本] ・大糸線[JR東日本] ・中央東線辰野支線[JR東日本]
				バス ・みずずハイウェイバス [アルピコ交通、伊那バス、信南交通]
	【C】幹線		圏域拠点と地域拠点を接続  (同一市村内地域間幹線)	鉄道 ・上高地線 [アルピコ交通]
				バス ・山形線 [アルピコ交通] ・鹿教湯温泉線 [アルピコ交通] ・塩尻北部線 [アルピコタクシー]
	【C'】みなし幹線		主要幹線もしくは幹線への乗継により圏域拠点へ接続	バス ・犀川線 [安曇観光タクシー] ・朝日・広丘線[アルピコタクシー]
	【D】準幹線		地域拠点と地域拠点を接続	バス ・池坂線[安曇観光タクシー] ・朝日・波田線[アルピコタクシー] ・明科線[安曇観光タクシー] ・安曇野線[安曇観光タクシー]
【E】支線		地域拠点と目的施設を接続	バス 乗合タクシー ・各市村のコミュニティ交通	



7-5 保障すべき品質

種別	品質保証の基本的な考え方(※)			設定する水準	
	通院	通学	観光	運行日	運行時間帯
【B】主要幹線	当該軸の沿線の居住区を出発して、直接もしくは【C】幹線・みなし幹線、【D】準幹線、【E】支線への乗継ぎにより地域医療を担う病院に午前中に到着。診療を終え、お昼前後に帰宅できる便がある。	当該軸の沿線の居住区を出発して、直接もしくは【C】幹線・みなし幹線、【D】準幹線、【E】支線への乗継ぎにより圏域内の高校への登下校に対応した便がある。下校時は、終業後ほどなくと部活動後の帰宅にあわせた便がある。	※令和8年度以降に設定予定	【鉄道】 平日・土休日とも (同水準で運行)  【バス】 平日・土休日とも (同水準で運行)	【鉄道】 概ね 6～23時  【バス】 概ね 6～21時
【C】幹線 【C'】みなし幹線	当該軸の沿線の居住区を出発して、直接もしくは【B】主要幹線、【D】準幹線、【E】支線への乗継ぎにより地域医療を担う病院に午前中に到着。診療を終え、お昼前後に帰宅できる便がある。	当該軸の沿線の居住区を出発して、直接もしくは【B】主要幹線、【D】準幹線、【E】支線への乗継ぎにより圏域内の高校への登下校に対応した便がある。下校時は、終業後ほどなくと部活動後の帰宅にあわせた便がある。		【鉄道】 平日・土休日とも (同水準で運行)  【バス】 平日・土休日とも (土休日については減便・運休を許容)	【鉄道】 概ね 6～23時半  【バス】 概ね 6～21時
【D】準幹線	【D】準幹線の運行内容は各市町村において設定するものとしているが、目安を以下に掲げる				
	当該軸の沿線の居住区を出発して、直接もしくは【B】主要幹線、【C】幹線・みなし幹線、【E】支線への乗継ぎにより地域医療を担う病院に午前中に到着。診療を終え、お昼前後に帰宅できる便がある。	当該軸の沿線の居住区を出発して、直接もしくは【B】主要幹線、【C】幹線・みなし幹線、【E】支線への乗継ぎにより圏域内の高校への登下校に対応した便がある。下校時は、終業後ほどなくと部活動後の帰宅にあわせた便がある。		【バス】 平日・土休日とも (土休日については減便・運休を許容)	【バス】 概ね 7～19時半
【E】支線	【E】支線の運行内容は各市町村において設定するものとしているが、目安を以下に掲げる				
	圏域内の各居住区を出発して直接もしくは【B】主要幹線、【C】幹線・みなし幹線、【D】準幹線への乗継ぎにより地域医療を担う病院に午前中に到着。診療を終え、お昼前後に帰宅できる便がある。	圏域内の各居住区を出発して直接もしくは【B】主要幹線、【C】幹線・みなし幹線、【D】準幹線への乗継ぎにより圏域内の高校への登下校に対応した便がある。下校時は、終業後ほどなくと部活動後の帰宅にあわせた便がある。		【バス】 平日・土休日とも (土休日については減便・運休を許容)	【バス】 概ね 6～22時

※広大な面積を有する松本地域は、複数の生活圏を有するとともに、隣接する他圏域にも生活圏を有する市村が存在する圏域であり、かつ、市町村合併により市村内においても異なる生活圏を有する地区が存在する。このため、一定の時刻までに圏域拠点へアクセスできることや、生活圏内の病院・高校へ通院・通学できることをもって、上記「品質保証の基本的な考え方」に定める通院・通学の品質を満たしていることとする。

## 7-6 品質を保证するための具体的な取組

施策	1 幹線・みなし幹線の検討と運行				
施策内容	信州型広域バス路線支援制度の補助要件に適合できる可能性をもつ以下の5路線を広域圏全体としての幹線・みなし幹線に位置づける。 ①山形線(幹線) ②鹿教湯温泉線(幹線) ③塩尻北部線(幹線) ④犀川線(みなし幹線) ⑤朝日広丘線(みなし幹線) これにより、バス路線等の見直しを行い、利便性の向上を図る。				
役割分担	見直しの実施＝松本地域別部会 運営主体＝各市村 運行実施＝交通事業者				
スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	・検討組織設立	・利用実態調査 ・運行内容の検討 ・運行内容の見直し(ダイヤ・便数等) ・住民調整(説明等)	・効果の検証 ・PDCAサイクルによる見直し	⇒⇒⇒	⇒⇒⇒
施策	2 利用促進・啓発活動の実施				
施策内容	松本地域8市村のバス路線の現状等の発信を含む利用促進・啓発活動を行うことで、通勤・通学・通院・買い物など生活の足として必要不可欠な地域公共交通を、将来に渡って維持・利用する意識を醸成する。				
役割分担	計画立案＝松本地域別部会 利用促進・啓発活動の実施＝松本地域別部会、各市村				
スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	・検討組織設立	・活動内容の検討 ・利用促進・啓発活動の実施(試行)	・効果の検証 ・先進地の事例研究等 ・活動内容の検討 ・利用促進・啓発活動の実施	⇒⇒⇒	⇒⇒⇒

## 8. 北アルプス地域

### 8-1 地域特性など

- 北アルプス地域は県の北西部に位置し、大町市、池田町、松川村の3市町村は松本盆地の北部に市街地が形成されています。また、北部の白馬村は白馬盆地に、小谷村は姫川の流域に居住区などが形成されています。域内の大半が豪雪地帯に指定されており、とくに白馬・小谷の両村は特別豪雪地帯にも指定されています。
- 南側で接する松本地域との流動が最も多く、これに次いで長野地域との流動がみられます。新潟県とも県境を接しており、一定数の流動があります。
- 商業施設、病院、高等学校などが最も多く立地しているのは、圏域中心である大町市街地で、この他に池田町中心部にも、まとまった施設立地がみられます。
- 主な観光地としては、北アルプスの山岳・自然資源を活かしたものが多く、冬のスキーに加え、近年ではグリーンシーズンの観光客も増えてきています。とくに外国人観光客が多いことが特徴です。
- また、西に隣接する富山県の黒部ダムは大町市扇沢がダム行きの電気バスの起点となっており、20分程度でアクセスできます。大町温泉郷は立山黒部アルペンルート観光の拠点にもなっています。さらに、バスターミナルのある白馬村八方エリアも観光の拠点になっています。

### 8-2 地域公共交通の概況

- J R大糸線が南北に縦貫し、南は松本駅で篠ノ井線に接続、北は新潟県の糸魚川駅で北陸新幹線及びえちごトキめき鉄道に接続しています。南小谷駅以南はJ R東日本、南小谷駅以北はJ R西日本と運営が分かれており、運行本数なども異なります。
- 路線バスについては、圏域を跨ぐ路線として、長野駅を起点とするアルピコ交通の長野・大町（扇沢）線、長野・白馬線の2路線があります。このうち、長野・大町（扇沢）線の冬期運行はアルピコタクシーが担っています。
- この他に事業者路線として、白馬駅から八方を經由し、梅池に向かうアルピコ交通の白馬・八方・梅池線や、信濃大町駅から扇沢駅までを結ぶアルピコ交通と関電アメニックス北アルプス交通による共同運行の扇沢線などがあります。
- 市町村界を越えるコミュニティ路線として、大町市民バスが3路線あり、支所地域等から大町市街地を結んでいます。また、池田町も町営バスを運行しており、J R大糸線の信濃松川駅、穂高駅、J R篠ノ井線の明科駅までを結んでいます。
- 各市町村においては、市町村民バス、福祉バス、デマンドタクシーや配車アプリを通じたタクシーの配車・予約など、地域の実情にあったバスやタクシーが運行され、通院や通学、買い物など地域住民の生活の足としての役割を担っています。

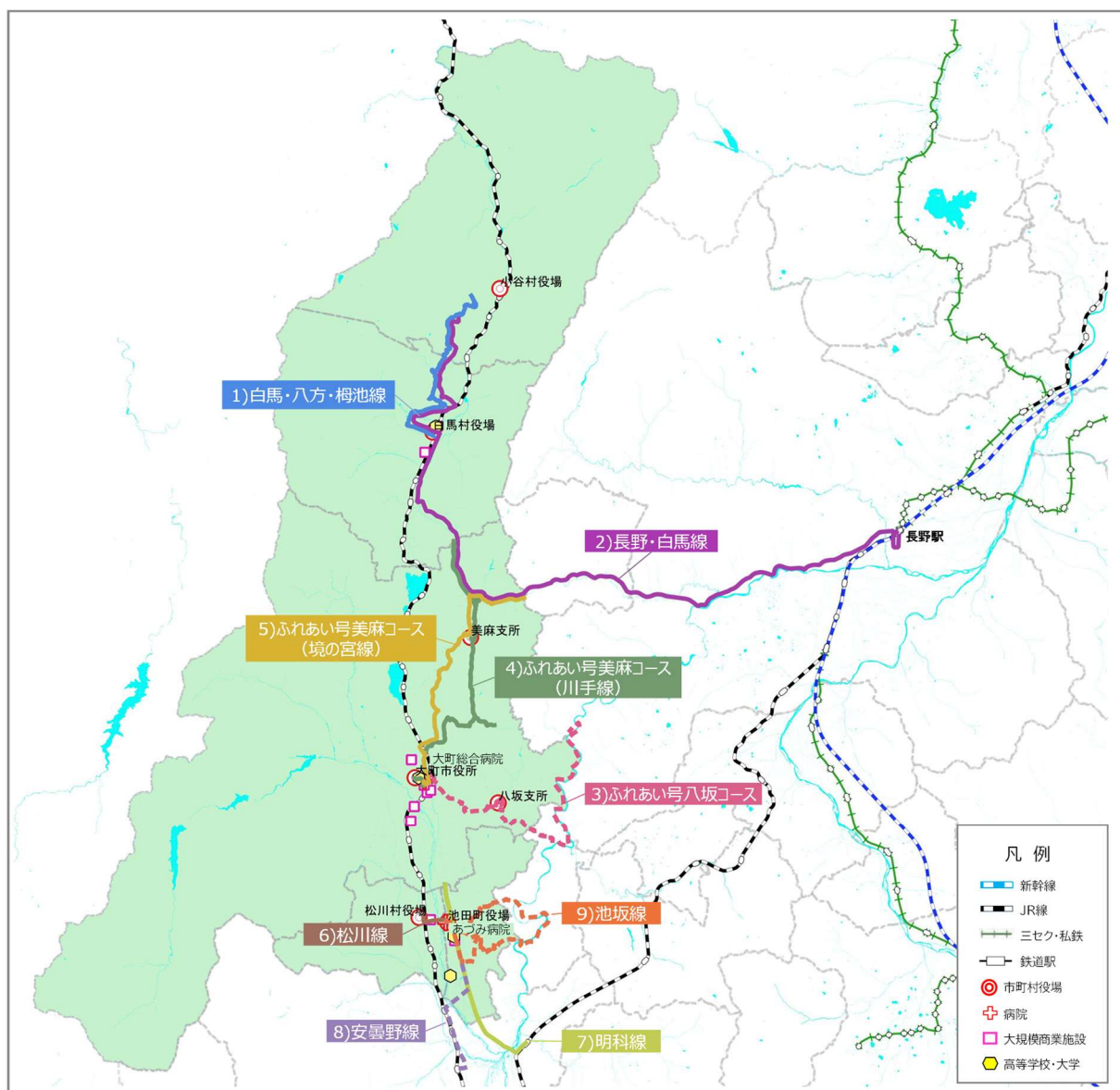
### 8-3 地域公共交通の課題

- 地域の日常生活においては、各市町村中心部へのアクセスが必要で、そのためにバス路線や鉄道路線が確保されていることが非常に重要となります。J R大糸線に接続することで、松本方面など地域外への移動にも対応できます。また、バス路線として長野・大町（扇沢）線、長野・白馬線へのアクセスも重要で、これにより長野方面への移動に対応できます。
- J R大糸線については、松本～有明間はある程度の運行本数があるものの、信濃大町、南小谷と北に行くにつれて運行間隔が長くなり、2時間以上空く時間帯もあります。また、南小谷駅で乗り換えのための待ち時間も長くなるケースが多いなど、利便性に課題がある状況にあります。加えて、利用者数が少なくなっていることから、沿線自治体などで構成される大糸線利用促進輸送強化期成同盟会、大糸線活性化協議会や小谷村大糸線振興会議などの団体は、沿線の情報発信やイベント開催などにより利用促進に努め、利用者数の増加を図っています。
- 地域公共交通の利用者、とくに通院や通学のために市町村域を超えた移動が必要な高齢者や高校生などが多くいます。利便性の向上を図るため、鉄道を補完するかたちで圏域内の市町村を跨ぐ広域的な路線の構築・充実が必要と考えられます。
- 利用者の利便性向上のため、圏域間（内）連携軸であるJ R大糸線の主要駅から周辺的生活関連施設や観光拠点にアクセスする二次交通を充実させる必要があります。

## 市町村界を跨ぐ主なバス路線の状況

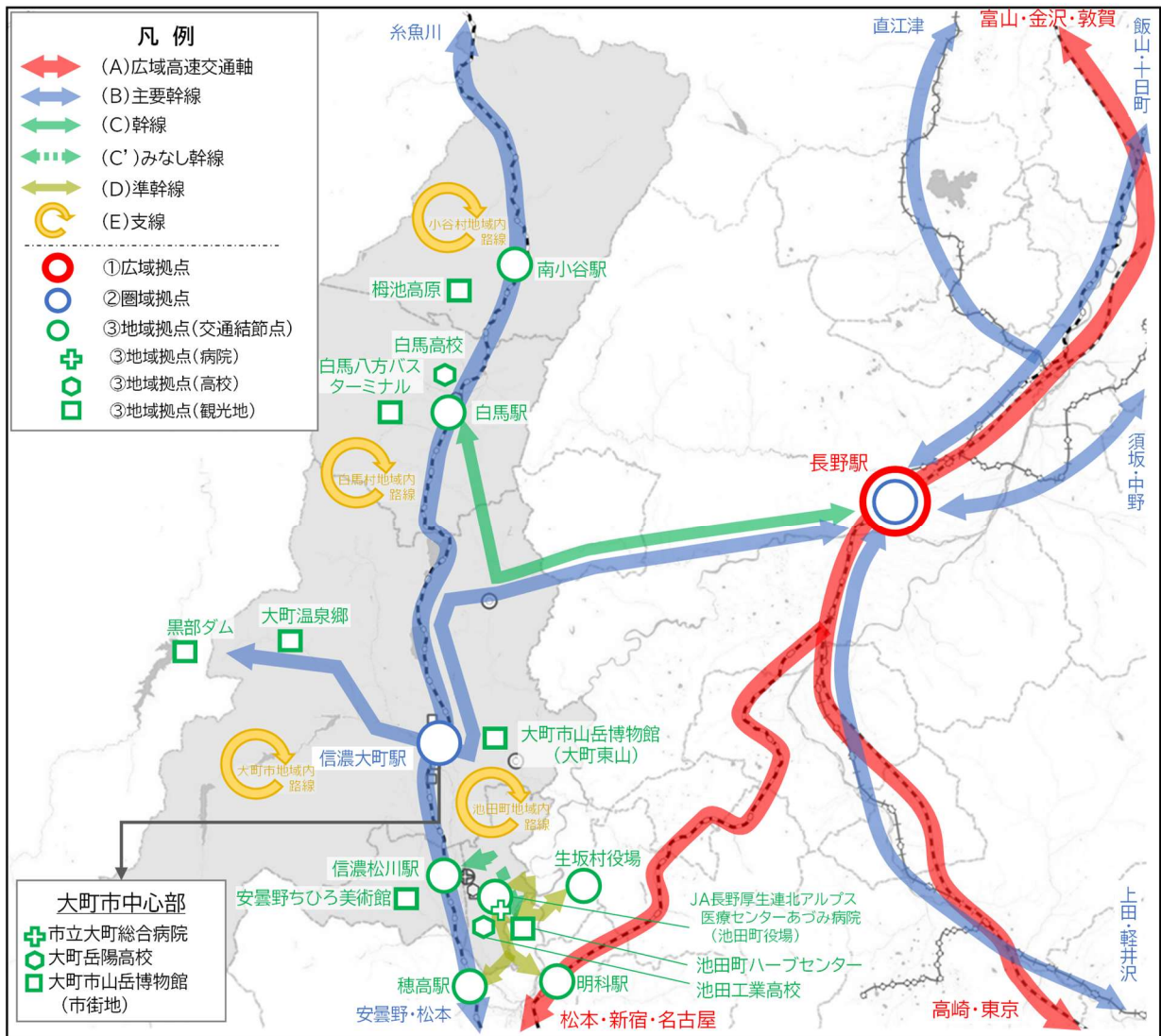
令和5年10月1日現在  
 (データの年次は令和4年度のもの。ただし地域間幹線系統の  
 国庫補助額は令和6年度申請のもの)

No.	路線種別	運行事業者 (委託先)	路線名	路線 距離	運行便数 (往復数)	利用者数 (輸送人員)	収支率	国庫申請額 (千円)
1	事業者路線	アルピコ交通	白馬・八方・柵池線	12.2	4.0	10,876		
2	(その他一般路線)		長野・白馬線	57.9	15.0			
3	コミュニティ路線 (廃止代替含む)	やまびこ	ふれあい号八坂コース	28.8	6.5	8,822	7.3%	
4		北アルプス交通	ふれあい号美麻コース (川手線)	28.3	5.0	15,585	8.7%	
5		北アルプス交通	ふれあい号美麻コース (境の宮線)	24.1	6.0			
6		安曇観光タクシー	松川線	8.4	7.5	7,332	27.4%	
7		安曇観光タクシー	明科線	13.2	6.0	12,565	41.2%	
8		安曇観光タクシー	安曇野線	11.1	6.0	7,973	26.1%	
9		安曇観光タクシー	池坂線	24.7	3.0	1,897	22.3%	



8-4 拠点と軸の設定

区分	名称	凡例	位置づけ	具体的な拠点・路線		
拠点	①広域拠点		○三大都市圏などと直接アクセス可能な交通結節点	—	—	
	②圏域拠点		○圏域の中心市町の交通結節点	大町市	・信濃大町駅	
	③地域拠点		○各市町村中心部の交通結節点 ○中核的な医療機関、高校、主要な観光地、買い物先施設	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">  ③地域拠点(病院)   ③地域拠点(高校)   ③地域拠点(観光地)                 </div>	大町市	市立大町総合病院 大町岳陽高校 大町温泉郷 黒部ダム 大町市山岳博物館(大町東山) 大町市山岳博物館(市街地)
					池田町	JA長野厚生連北アルプス医療センターあづみ病院(池田町役場) 池田工業高等学校 池田町ハーブセンター
					松川村	・信濃松川駅 <hr/> 安曇野ちひろ公園
					白馬村	・白馬駅 <hr/> 白馬高校 白馬八方バスターミナル
					小谷村	・南小谷駅 <hr/> 梅池高原
軸・路線	【A】広域高速交通軸		三大都市圏と県内の広域拠点を接続	—	—	
	【B】主要幹線		隣接県と県内や県内の広域拠点を接続	鉄道	・大糸線 [JR東日本(南小谷以南)] ・大糸線 [JR西日本(南小谷以北)]	
				バス	・長野・大町(扇沢)線 [アルピコ交通] ・アルピコタクシー	
	【C】幹線		圏域拠点と地域拠点を接続	バス	・長野・白馬線 [アルピコ交通]	
	【C'】みなし幹線		B主要幹線への乗継により圏域拠点へ接続	バス	・松川線[池田町営]	
	【D】準幹線		地域拠点と地域拠点を接続	バス	・明科線[池田町営] ・安曇野線[池田町営] ・池坂線[生坂村営]	
【E】支線		地域拠点と目的施設を接続	バス	・各市町村のコミュニティ交通		



## 8-5 保証すべき品質

8-4 で掲げた各連携軸は、次の水準での整備を目指します。

種別	品質保証の基本的な考え方			設定する水準		
	通院	通学	観光	運行日	運行時間帯	運行本数
【B】主要幹線	交通結節点と位置づけた大系線の各駅を出発して圏域内の中核的な医療機関に午前中(概ね7~10時)に到着。診療を終え、午後の早い時間(概ね12~14時)に帰宅できる便がある。	交通結節点と位置づけた大系線の各駅を出発して指定高校(※1)へ始業開始時刻までに到着。下校時は、終業後ほどなくと塾や部活動後の帰宅にあわせた便がある。	※令和8年度以降に設定予定	平日・土休日とも(同水準で運行)	概ね6~22時	20往復/日程度(圏域南部) 8往復/日程度(圏域北部)
【C】幹線	—	—	—	—	—	
【C'】みなし幹線	当該軸の沿線居住区を出発して直接もしくは【B】主要幹線、【D】準幹線、【E】支線への乗継ぎにより圏域内の中核的な医療機関に午前中(概ね7~10時)に到着。診療を終え、午後の早い時間(概ね12~14時)に帰宅できる便がある。	当該軸の沿線居住区を出発して直接もしくは【B】主要幹線、【D】準幹線、【E】支線への乗継ぎにより指定高校(※1)に始業開始時刻までに到着。下校時は、終業後ほどなくと塾や部活動後の帰宅にあわせた便がある。	—	平日・土休日とも(休日については減便・運休を許容)	概ね7~19時	8往復/日程度(平日)
【D】準幹線	当該軸の沿線居住区を出発して直接もしくは【B】主要幹線、【C'】みなし幹線、【E】支線への乗継ぎにより圏域内の中核的な医療機関に午前中(概ね7~10時)に到着。診療を終え、午後の早い時間(概ね12~14時)に帰宅できる便がある。	当該軸の沿線居住区を出発して直接もしくは【B】主要幹線、【C'】みなし幹線、【E】支線への乗継ぎにより指定高校(※1)へ始業開始時刻までに到着。下校時は、終業後ほどなくと塾や部活動後の帰宅にあわせた便がある。	—	平日・土休日とも(休日については減便・運休を許容)	概ね7~19時	6往復/日程度(平日)
【E】支線	【E】支線(市町村内連携)の運行内容は各市町村において設定するものとしているが、目安を以下に掲げる					
【E】支線	圏域内の各居住区を出発して直接もしくは【B】主要幹線、【C'】みなし幹線、【D】準幹線への乗継ぎにより圏域内の中核的な医療機関に午前中(概ね7~10時)に到着。診療を終え、午後の早い時間(概ね12~14時)に帰宅できる便がある。	圏域内の各居住区を出発して直接もしくは【B】主要幹線、【C'】みなし幹線、【D】準幹線への乗継ぎにより指定高校(※1)へ始業開始時刻までに到着。下校時は、終業後ほどなくと塾や部活動後の帰宅にあわせた便がある。	—	平日・土休日とも(休日については減便・運休を許容)	概ね7~18時	6往復/日程度(平日)

(※1) 指定高校とは、北アルプス圏域内のすべての高校に加え、隣接する松本圏域の主要駅(豊科・穂高・松本駅)からの徒歩圏内にあるすべての高校を指す。

## 10. 北信地域

### 10-1 地域特性など

- 北信地域は県の北東部に位置し、千曲川が地域の南西から北東に向けて流れています。長野盆地から千曲川に沿って続く平坦地、扇状地に市街地が形成され、高社山を境に岳北、岳南に市街地が分かれています。ほぼ全域が特別豪雪地帯に指定され、冬期は公共交通の運行に支障を来すことがあります。
- 県内でも人口減少、高齢化の進展が顕著であり、集落機能の低下が課題となっています。
- 南西で接する長野地域との流動が多く、県内10圏域間の流動でも最も多いものとなっています。また、栄村では、北東側で県境を接する新潟県津南町、十日町市との流動がみられます。
- 総合的な診療を行う中核病院として、中野市の北信総合病院、飯山市の飯山赤十字病院があります。高等学校は岳北、岳南それぞれ2校あり、飯山市に飯山養護学校（令和8年4月「飯山支援学校」に名称変更）があります。商業施設等が多く立地している地区として、中野市中心部、飯山市中心部があります。
- 域内に志賀高原、野沢温泉といった海外からも評価が高いスノーリゾートが多数あり、冬期は多くの観光客が訪れます。その他、飯山市の斑尾高原、山ノ内町の地獄谷野猿公苑（スノーモンキー）、湯田中渋温泉郷、栄村の秋山郷などが主要な観光地です。

### 10-2 地域公共交通の概況

- 北陸新幹線が地域内を走っており、首都圏と北陸地域を結んでいます。飯山駅は、当地域における首都圏、関西圏からの玄関口の機能を果たしています。
- JR飯山線が千曲川に沿って走り、南は長野市の豊野駅でしなの鉄道北しなの線に、北は新潟県長岡市の越後川口駅でJR上越線に接続しています。また、長野電鉄長野線が長野市から運行しており、中野市を経て山ノ内町の湯田中駅までを結んでいます。これら両路線により流動の多い長野地域との移動需要に対応しています。
- 地域間幹線系統のバスとして長電バスの上林線、永田線、野沢線、中野木島線の4路線（令和5年10月1日現在）があります\*。また、南越後観光バスの湯沢線が該当しています。
- この他に長電バスの事業者路線として菅線があります\*\*。コミュニティ路線として市町村界を跨ぐものが4路線あり、このうち木島平村シャトル便と野沢温泉ライナーは、北陸新幹線からの二次交通としての位置づけを持つ路線となっています。

\* 永田線はR8年3月31日廃止予定。野沢線、中野木島線はR8年10月1日中野木島野沢線に統合予定

\*\* 菅線はR8年9月末をもって廃止を検討

### 10-3 地域公共交通の課題

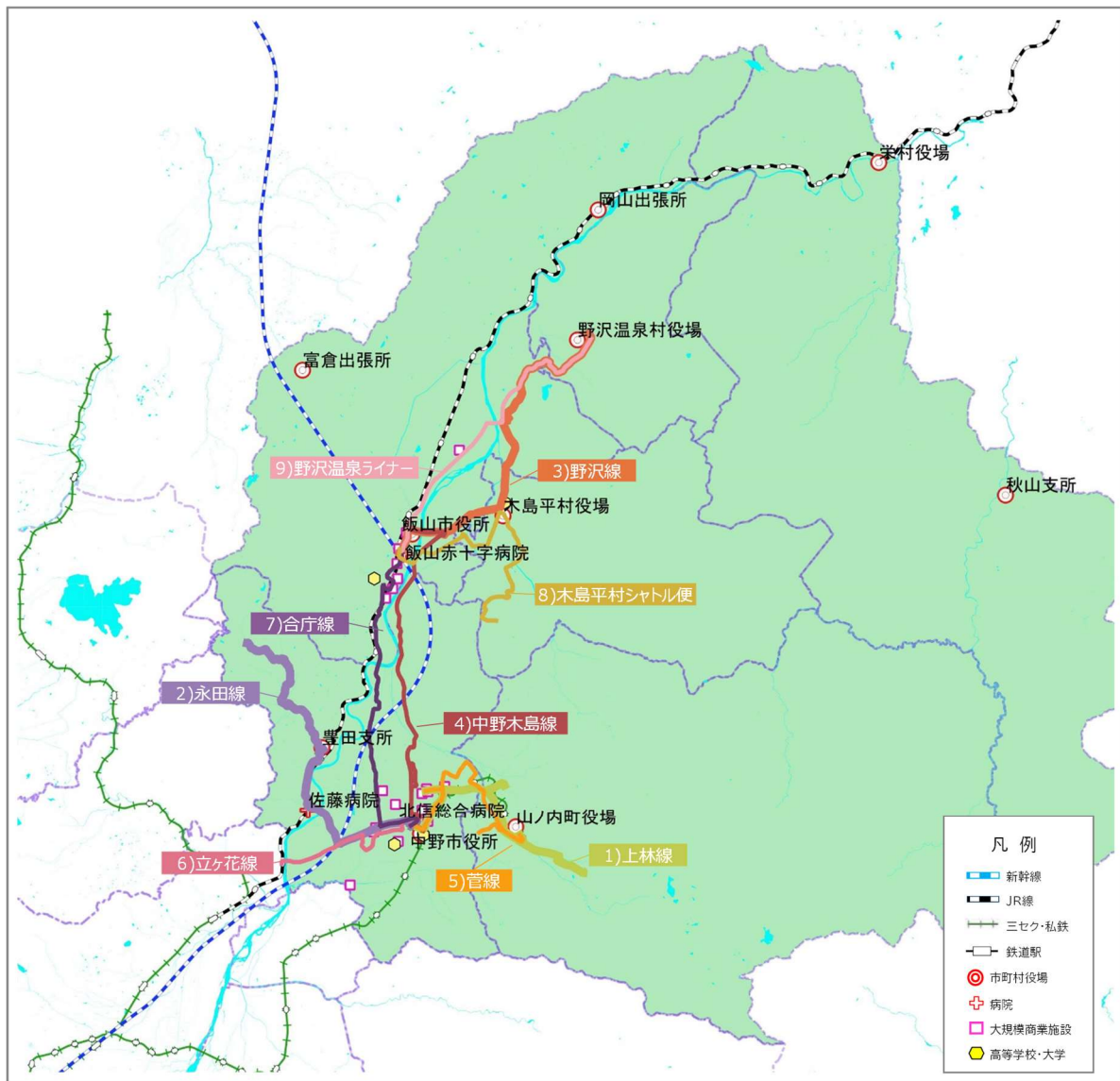
- 人口減少により公共交通の利用者が減少し、地域全体で公共交通網の維持が困難な状況です。JR飯山線は平均通過人員2,000人/日未満の路線として公表されており、特に戸狩野沢温泉～津南区間における利用が非常に少ない状況です。バス路線では、地域間幹線系統の一部の路線において国庫補助事業の補助基準となっている輸送量を下回る可能性があります。また、バス事業者において運転手の確保が課題となっています。
- 一方、高齢化の進展と高齢者の運転免許返納の増加により、自家用車を運転しない高齢者の移動手段の確保が課題となっています。また、人口・若者定着には地域内の高校に通学できることが重要であり、通学手段として地域公共交通の維持が必要です。
- インバウンド急増に伴う観光客の移動需要の増加に対応する必要があります。圏域拠点である飯山駅、信州中野駅は、鉄道によるアクセスが確保されているため、これらと観光地を結ぶ二次交通の整備が課題です。
- 利便性向上に関する課題としては、交通系ICカード導入の遅れなどキャッシュレス決済環境の整備や、観光客が円滑に移動できるよう経路検索サービスの提供や運行情報掲示板の設置による情報提供環境の整備が挙げられます。また、豪雪地帯という特殊要因から、バス路線の乗継で冬期でも待合いできるような待合設備の設置による利用環境を整備する必要があります。

# 市町村界を跨ぐ主なバス路線の状況

令和5年10月1日現在  
 (データの年次は令和4年度のもの。ただし地域間幹線系統の国庫補助額は令和6年度申請のもの)

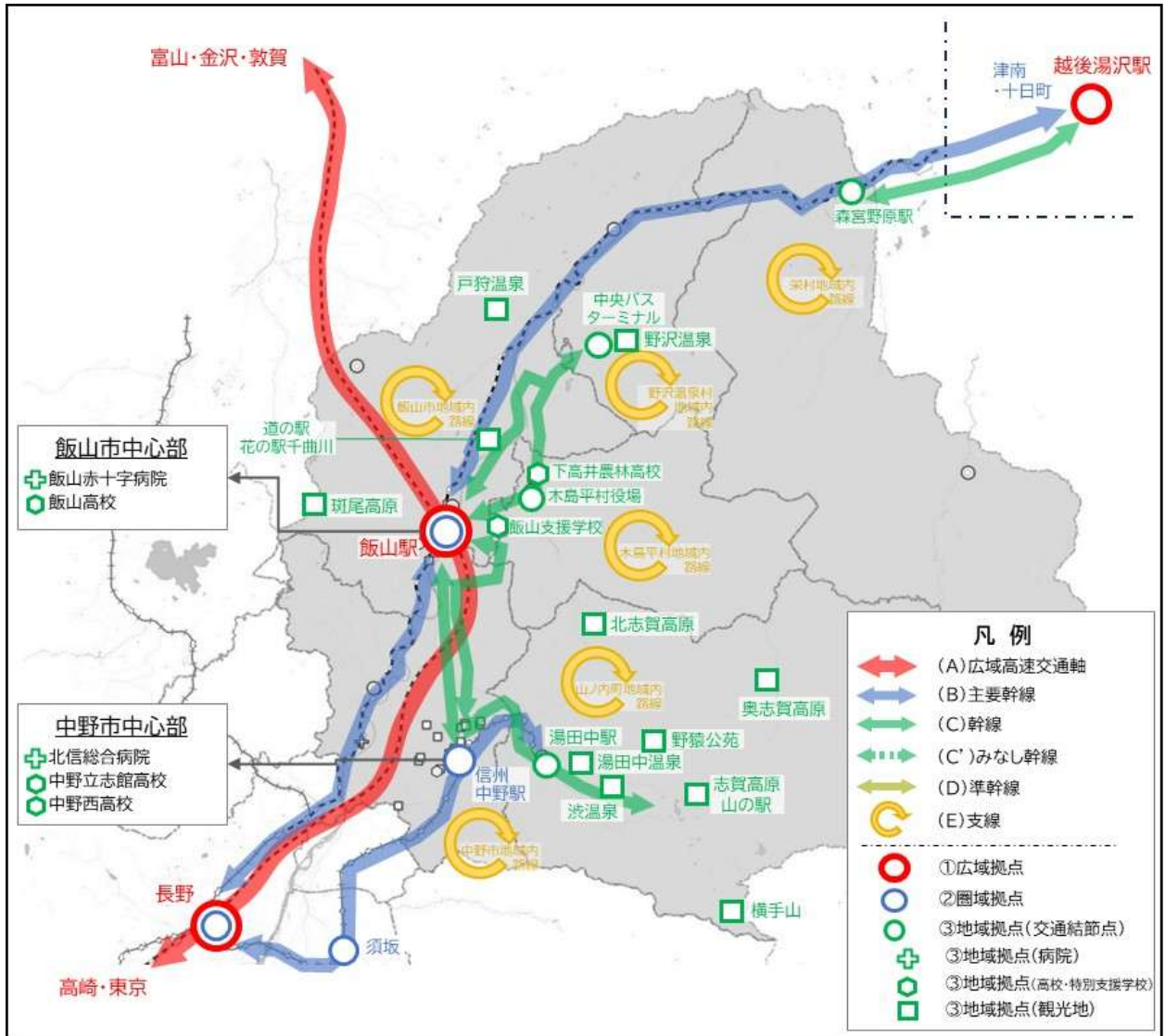
No.	路線種別	運行事業者 (委託先)	路線名	路線 距離 (km)	運行便数 (往復数)	利用者数 (輸送人員)	収支率	国庫申請額 (千円)
1	事業者路線 (地域間幹線系統)	長電バス	上林線	14.0	6.5	29,058	30.3%	3,421.5
2			永田線*	16.6	7.4	19,218	30.7%	1,040.5
3			野沢線**	16.3	10.6	54,678	42.3%	4,591.0
4			中野木島線**	17.9	6.0	54,287	59.0%	6,440.0
5	事業者路線 (その他一般路線)	長電バス	菅線***	14.0	4.6			
6	コミュニティ路線 (廃止代替含む)	長電バス	立ヶ花線	8.0	2.6			
7			合庁線	17.7	4.6			
8		岳北ハイヤー	木島平村シャトル便	13.1	3.5			
9		のぞむ温泉交通	野沢温泉ライナー	14.6	20.0			

\* R8年3月31日廃止予定 \*\* R8年10月1日中野木島野沢線に統合予定 \*\*\* R8年9月末をもって廃止を検討



10-4 拠点と軸の設定

区分	名称	凡例	位置づけ	具体的な拠点・路線		
拠点	①広域拠点		○三大都市圏などと直接アクセス可能な交通結節点	飯山市	・飯山駅	
				新潟県	・越後湯沢駅	
	②圏域拠点		○圏域の中心市町の交通結節点	中野市	・信州中野駅	
				飯山市	・飯山駅	
	③地域拠点		○各市町村中心部の交通結節点 ○中核的な医療機関、高校、主要な観光地、買い物先施設	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> <li> ③地域拠点(病院)</li> <li> ③地域拠点(高校・特別支援学校)</li> <li> ③地域拠点(観光地)</li> </ul> </div>	中野市	<ul style="list-style-type: none"> <li> 北信総合病院</li> <li> 中野立志館高校</li> <li> 中野西高校</li> </ul>
					飯山市	<ul style="list-style-type: none"> <li> 飯山赤十字病院</li> <li> 飯山高校</li> <li> 飯山支援学校</li> <li> 斑尾高原</li> <li> 戸狩温泉</li> <li> 道の駅 花の駅千曲川</li> </ul>
					山ノ内町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湯田中駅</li> <li> 志賀高原山の駅</li> <li> 奥志賀高原</li> <li> 横手山</li> <li> 北志賀高原</li> <li> 湯田中温泉</li> <li> 渋温泉</li> <li> 野猿公苑</li> </ul>
					木島平村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木島平村役場</li> <li> 下高井農林高校</li> </ul>
					野沢温泉村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央バスターミナル</li> <li> 野沢温泉</li> </ul>
					栄村	・森宮野原駅
軸・路線	【A】広域高速交通軸		三大都市圏と県内の広域拠点を接続	鉄道	北陸新幹線[JR東日本]	
	【B】主要幹線		隣接県と県内や県内の広域拠点を接続	鉄道	・飯山線[JR東日本] ・長野線[長野電鉄]	
	【C】幹線		圏域拠点と地域拠点を接続	バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上林線[長電バス]</li> <li>・中野木島野沢線[長電バス]</li> <li>・合庁線[長電バス]</li> <li>・木島平村シャトル便[木島平村]</li> <li>・野沢温泉ライナー[野沢温泉村]</li> <li>・湯沢線[南越後観光バス]</li> </ul>	
	【D】準幹線		地域拠点と地域拠点を接続	—	—	
	【E】支線		地域拠点と目的施設を接続	バス	・各市町村のコミュニティバス等	



10-5 保証すべき品質

種別	品質保証の基本的な考え方			設定する水準			
	通院	通学	観光	路線	運行日	運行時間帯	運行本数
【B】主要幹線	当該路線の北信地域内の各駅から地域医療を担う北信総合病院及び飯山赤十字病院に午前中（概ね7～10時）に到着できる列車がある。診療を終え、午後の早い時間帯（概ね12～14時）に帰宅できる列車がある。	当該路線の北信地域内の各駅から飯山高校、下高井農林高校、中野立志館高校、中野西高校、飯山支援学校へ始業時間に間に合うよう登校できる列車がある。下校時は、終業後及び課外活動終了後、帰宅できる列車がある。	※令和8年度以降に設定予定	・飯山線 [JR 東日本] ・長野線 [長野電鉄]	平日・土日とも (同水準で運行)	概ね 6～22時	20往復/日程度 (下記以外) 8往復/日程度 (飯山線戸狩野沢温泉駅以北)
【C】幹線	当該路線の沿線の居住区から北信総合病院及び飯山赤十字病院に午前中に到着できる便がある。診療を終え、午後の早い時間帯に帰宅できる便がある。	当該路線の沿線の居住区から飯山高校、下高井農林高校、中野立志館高校、中野西高校、飯山支援学校へ始業時間に間に合うよう登校できる便がある。下校時は、終業後及び課外活動終了後、帰宅できる便がある。		・上林線 ・中野木島野沢線 ・合庁線 ・木島平シャトル便 ・野沢温泉ライナー ・湯沢線	平日・土日とも  (土休日は減便・運休を許容 ただし、別路線での補完や利用実態に応じた移動手段の確保について検討)	概ね 7～19時 平日  (通学に関し、利用実態等に応じて登下校に必要な便を確保)	概ね 5～7 往復/日 平日  (通学に関し、利用実態等に応じて登下校に必要な便を確保)
【D】準幹線	北信地域において【D】準幹線の設定は現時点でないが、設定する場合は概ね【C】幹線と同等の水準とする。						
【E】支線	以下の水準を基本とし、利用実態等に応じて各市町村において設定することとする。						
【E】支線	当該路線の沿線の居住区から直接若しくは【C】幹線への乗継ぎにより北信総合病院及び飯山赤十字病院に午前中に到着できる便がある。診療を終え、午後の早い時間帯に帰宅できる便がある。	当該路線の沿線の居住区から直接若しくは【C】幹線への乗継ぎにより飯山高校、下高井農林高校、中野立志館高校、中野西高校、飯山支援学校へ始業時間に間に合うよう登校できる便がある。下校時は、終業後及び課外活動終了後、帰宅できる便がある。			平日・土日とも  (土休日は減便・運休を許容)	概ね 7～19時 平日  (【C】幹線乗継ぎの利便性を確保)	概ね 5～7 往復/日 平日  (【C】幹線乗継ぎの利便性を確保)

## 10-6 品質を保证するための具体的な取組

施策	1 幹線の運行				
施策内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通院、通学、観光に係る移動保証に留意し、運行を継続する。</li> <li>・幹線の運行のみで移動が保証されない場合は、次の対応を検討する。             <ul style="list-style-type: none"> <li>① 別路線での補完</li> <li>② 利用実態応じた移手段の確保(ライドシェア、学校関係者等による送迎など)</li> </ul> </li> </ul> <b>【対象路線】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 上林線 ② 中野木島野沢線 ③ 合庁線 ④ 湯沢線</li> <li>※ 幹線を補完する路線 木島平シャトル便、野沢温泉ライナー</li> <li>・今後も利用状況等を継続的に調査し、利用実態等に応じて必要な便を確保するとともに適正な路線となるよう確認する。</li> </ul>				
役割分担	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体調整 北信地域別部会</li> <li>・運行主体 バス事業者、北信6市町村</li> <li>・運行実施 バス事業者</li> </ul>				
スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	・検討組織設立	・運行内容確認 見直し	・運行継続 ・利用状況確認 ・移動保証確保策 検討	⇒⇒⇒	⇒⇒⇒

施策	2 支線の運行と広域連携・共同運行の検討				
施策内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通院、通学、観光に係る移動保証に留意し、運行を継続する。</li> <li>・地域拠点に接続していない場合、新規路線の運行を検討する。</li> <li>・効率的な運行となるよう広域的な連携や共同運行の実施について検討する。</li> </ul>				
役割分担	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運行主体 バス事業者、北信6市町村</li> <li>・運行実施 バス・タクシー等交通事業者</li> </ul>				
スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	・検討組織設立	・運行継続 (幹線側の運行 内容確認、見直し)	・運行継続 ・新規路線検討 ・広域連携等検討	⇒⇒⇒	⇒⇒⇒⇒

施策	3 地域公共交通の利用促進				
施策内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各主体において以下の取組を実施する。             <ul style="list-style-type: none"> <li>① 県 地域公共交通網整備や利便性の向上に繋がる利用環境整備、利用促進の取組への支援</li> <li>② 北信6市町村 住民への利用呼びかけ、利用助成などによる利用促進</li> <li>③ 交通事業者 利便性向上のためのダイヤ改正、キャッシュレス決済環境・情報提供環境の整備等</li> <li>④ 関係団体 各団体に属する者や関係者等への利用の呼びかけ等</li> </ul> </li> <li>・バス路線乗継拠点を中心に地域拠点の利用環境整備を実施する。 冬期でも待合いできるよう上屋、椅子等の待合設備の設置等</li> </ul>				
役割分担	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体調整 北信地域別部会</li> <li>・実施主体 各団体</li> </ul>				
スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	・検討組織設立	・利用促進策検討	・利用促進策実施 ・環境整備等検討	⇒⇒⇒	⇒⇒⇒⇒